

平成 30 年度

学生のための 履修手引き

平成 30 年 4 月

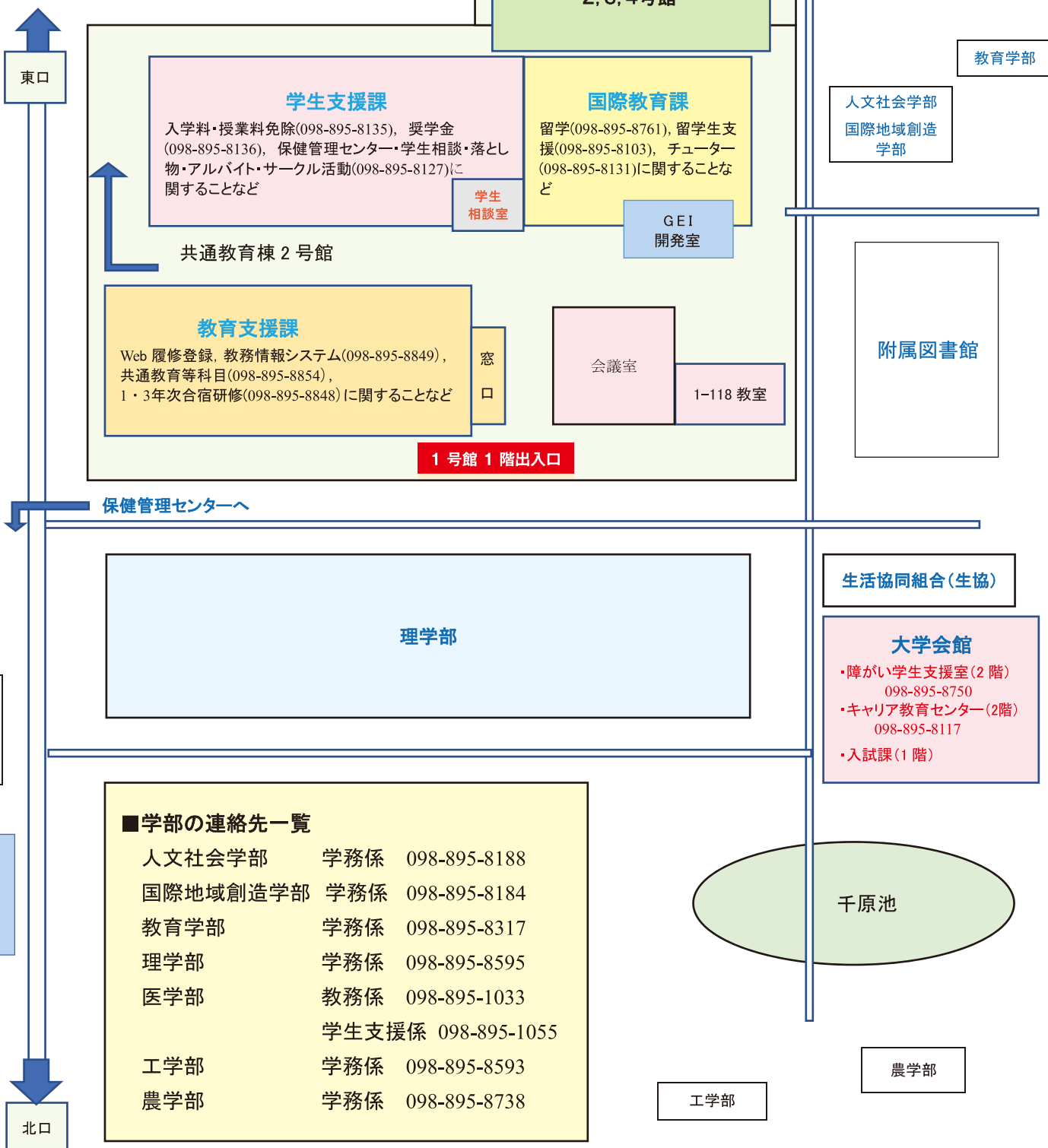


琉球大学グローバル教育支援機構

学生部事務室 案内図・連絡先

地域国際学習センター
ハラスメント相談支援
センター098-895-8732
(内線 2982)

〈共通教育棟1号館〉
〈グローバル教育支援機構(GEI)〉



■学部の連絡先一覧

人文社会学部	学務係	098-895-8188
国際地域創造学部	学務係	098-895-8184
教育学部	学務係	098-895-8317
理学部	学務係	098-895-8595
医学部	教務係	098-895-1033
	学生支援係	098-895-1055
工学部	学務係	098-895-8593
農学部	学務係	098-895-8738

目次

I 平成30年度学年暦	1	V 副専攻	38
II 「履修登録」「履修中止」「成績評価不服申立」などの1年間の流れ	3	VI 学習サポートルーム	39
III 学生便覧・授業時間配当表の閲覧、 教務情報システムを利用した 授業科目の登録・取消し、成績確認、 アンケートへの回答方法など	5	VII 休学・退学等の手続き	40
1. 学生便覧・授業時間配当表の見方	5	1. 休学	40
2. 教務情報システムの説明	6	2. 復学	40
3. 授業科目の登録・取消しの方法	7	3. 転学部・転学科等	40
4. 成績の確認方法	10	4. 退学	41
5. アンケートへの回答	11	5. 除籍	41
6. その他住所変更等の入力	12	6. 再入学	42
		7. 手続き様式の入手方法	42
IV 大学の教育課程	13	VIII 台風時等の授業の取扱い	43
1. 学士課程教育プログラムによる 4(6)年一貫教育	13		
2. 共通教育等の特徴とその構成	14		
3. 単位制	16		
4. 履修計画	16		
5. 各学部学科等別共通教育等 履修基準表	19		
6. 履修登録手続き	28		
7. 各学部登録上限単位数	32		
8. クォーター科目	34		
9. 期末試験	35		
10. 履修中止（ウィズドロウ）制度	35		
11. GPA制度	36		
12. 成績評価不服申立制度	37		



平成30年度学年暦

学年暦には、履修登録期間、授業開始日、成績開示日、授業振替日（7月17日（火）は月曜日の授業が行われるなど）、卒業式の日などが記載されていますので、各自で確認しましょう。次ページのカレンダーも確認してください。

平成30年度学年暦 ※1

(平成30年)	4月 1日(日)	学年及び前学期開始
	4月 2日(月)	授業時間配当表公開 ※2
	4月 2日(月)～ 4月 5日(木)	授業科目の仮登録(前学期/第1・第2クォーター) ※3
	4月 3日(火)～ 4月 5日(木)	新入生オリエンテーション
	4月 6日(金)	入学式
	4月 6日(金)	履修登録確認表配付(前学期/第1・第2クォーター)
	4月 9日(月)	授業開始(前学期/第1クォーター)
	4月 9日(月)～ 4月 20日(金)	登録調整期間(前学期/第1・第2クォーター)
	4月 10日(火)～ 4月 24日(火)	定期健康診断
	4月 23日(月)～ 4月 27日(金)	履修中止手続期間(第1クォーター)
	4月 23日(月)～ 5月 11日(金)	履修中止手続期間(前学期)
	5月 22日(火)	開学記念日(講義日)
	5月 26日(土)	体育祭
	6月 1日(金)～ 10月 31日(水)	教育実習
	6月 5日(火)	授業開始(第2クォーター)
	6月 8日(金)	授業終了(第1クォーター) ※8
	6月 5日(火)～ 6月 25日(月)	履修中止手続期間(第2クォーター)
	6月 23日(土)	慰霊の日
	7月 2日(月)	成績開示(第1クォーター)
	7月 14日(土)	琉球大学説明会(オープンキャンパス)
	7月 17日(火)	月曜日授業振替(※4)
	7月 25日(水)	前学期の試験期間(※5)
	7月 30日(月)～ 7月 31日(火)	}
	8月 2日(木)～ 8月 3日(金)	
	8月 1日(水)	英語全学統一テスト(※6)
	8月 6日(月)～ 8月 7日(火)	予備日(※7)
	8月 8日(水)	英語全学統一テスト予備日(※6), 授業終了(前学期/第2クォーター) ※8
	8月 9日(木)～ 9月 30日(日)	夏季休業
	9月 3日(月)	成績開示(前学期/第2クォーター) ※2
	9月 22日(土)～ 9月 23日(日)	琉大祭
	9月 25日(火)	授業時間配当表公開 ※2
	9月 25日(火)～ 9月 27日(木)	授業科目の仮登録(後学期/第3・第4クォーター) ※3
	9月 28日(金)	履修登録確認表配付(後学期/第3・第4クォーター)
	9月 30日(日)	前学期終了
	10月 1日(月)	後学期開始
	10月 1日(月)	授業開始(後学期/第3クォーター)
	10月 1日(月)～ 10月 15日(月)	登録調整期間(後学期/第3・第4クォーター)
	10月 7日(日)	琉大祭予備日
	10月 16日(火)～ 10月 22日(月)	履修中止手続期間(第3クォーター)
	10月 16日(火)～ 11月 5日(月)	履修中止手続期間(後学期)
	11月 27日(火)	授業開始(第4クォーター)
	11月 27日(火)～ 12月 17日(月)	履修中止手続期間(第4クォーター)
	11月 30日(金)	授業終了(第3クォーター) ※8
	12月 4日(火)	推薦入試(休講)
	12月 22日(土)～ 1月 6日(日)	冬季休業
(平成31年)	1月 7日(月)	授業開始
	1月 7日(月)	成績開示(第3クォーター)
	1月 9日(水)	金曜日授業振替(※4)
	1月 17日(木)	月曜日授業振替(※4)
	1月 18日(金)	大学入試センター試験準備(休講)
	1月 19日(土)～ 1月 20日(日)	大学入試センター試験
	2月 4日(月)～ 2月 8日(金)	後学期の試験期間(※5)
	2月 12日(火)	英語全学統一テスト(※6)
	2月 13日(水)～ 2月 14日(木)	予備日(※7)
	2月 15日(金)	英語全学統一テスト予備日(※6), 授業終了(後学期/第4クォーター) ※8
	2月 16日(土)～ 3月 31日(日)	春季休業
	2月 25日(月)～ 2月 26日(火)	入学者選抜第2次試験「前期日程」
	3月 1日(金)	成績開示(後学期/第4クォーター) ※2
	3月 12日(火)～ 3月 13日(水)	入学者選抜第2次試験「後期日程」
	3月 20日(水)	卒業式
	3月 31日(土)	学年及び後学期終了

- ※1：医学部医学科の学年暦はこの学年暦に準じ、医学部において定める。
各研究科の学年暦はこの学年暦に準じ、各研究科において定めることができる。
- ※2：教務情報システムを利用して提供する。
- ※3：クォーターとは、前学期と後学期のそれぞれ前半と後半に、8週（試験を含む）で授業を行う期間のこと。
- ※4：指定の曜日の振替日とし、本来の曜日の講義・試験・補講・実習を行わない。
- ※5：試験期間は、期末試験の他に講義・補講等を行うことがある。
- ※6：前学期は大学英语語の受講者が対象。後学期は前学期履修者及び3年次が対象。
- ※7：予備日は台風等で全学休講になった日の授業又は定期試験を行う。
- ※8：クォーター科目の期末試験は、原則として期間の最終日に行う。

(平成30年)

○祝日, □授業振替日・台風等の予備日, △英語統一テスト(予備日を含む)・休講日, ■定期試験日

4月

Calendar for April 2018 with circled dates 6, 29, and 30.

1日: 学年・前学期開始
6日: 入学式
9日: 前学期・第1クォーター授業開始
9~20日: 登録調整期間
23~27日: 第1クォーター履修中止手続期間

5月

Calendar for May 2018 with circled dates 3, 4, 5, 20, and 27.

4月23~5月11日: 前学期履修中止手続期間
22日: 開学記念日(講義日)
26日: 体育祭

6月

Calendar for June 2018 with circled date 23.

5日: 第2クォーター授業開始
5~25日: 第2クォーター履修中止手続期間
8日: 第1クォーター授業終了

7月

Calendar for July 2018 with circled dates 16, 17, and 29.

2日: 成績開示(第1クォーター)
14日: オープンキャンパス
17日: 月曜日授業振替
25, 30, 31日~8月2, 3日: 前学期試験期間

8月

Calendar for August 2018 with circled dates 11, 12, 19, 26, and 27.

7月25,30~31日~8月2, 3日: 前学期試験期間
1日: 英語統一テスト△(予備日8日)
6, 7日: 台風等の予備日□
8日: 前学期・第2クォーターの授業終了
8月9日~9月30日: 夏季休業

9月

Calendar for September 2018 with circled dates 17, 23, and 24.

30
3日: 成績開示(前学期・第2クォーター)
22~23日: 琉大祭
30日: 前学期終了

10月

Calendar for October 2018 with circled date 8.

1日: 後学期開始
1日: 後学期・第3クォーター授業開始
1~15日: 登録調整期間
16~22日: 第3クォーター履修中止手続期間

11月

Calendar for November 2018 with circled dates 3, 18, 23, and 25.

10月16日~11月5日: 後学期履修中止手続期間
27日: 第4クォーター授業開始
11月27日~12月17日: 第4クォーター履修中止手続期間
30日: 第3クォーター授業終了

12月

Calendar for December 2018 with circled dates 23, 24, and 30.

31
4日: 推薦入試(休講)△
12月22日~1月6日: 冬季休業

(平成31年)

1月

Calendar for January 2019 with circled dates 1, 9, 14, 17, and 18.

7日: 後学期後半授業開始
7日: 成績開示(第3クォーター)
9日: 金曜日振替
18日: 大学入試センター試験準備(休講)△
19~20日: 大学入試センター試験
17日: 月曜日振替

2月

Calendar for February 2019 with circled dates 3, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 24, and 25.

4~8日: 後学期試験期間
12日: 英語統一テスト△(予備日15日)
13~14日: 台風等の予備日□
15日: 後学期・第4クォーター授業終了
2月16日~3月31日: 春季休業
25~26日: 入学者選抜試験(前期日程)☆

3月

Calendar for March 2019 with circled dates 10, 17, 20, 21, 24, and 31.

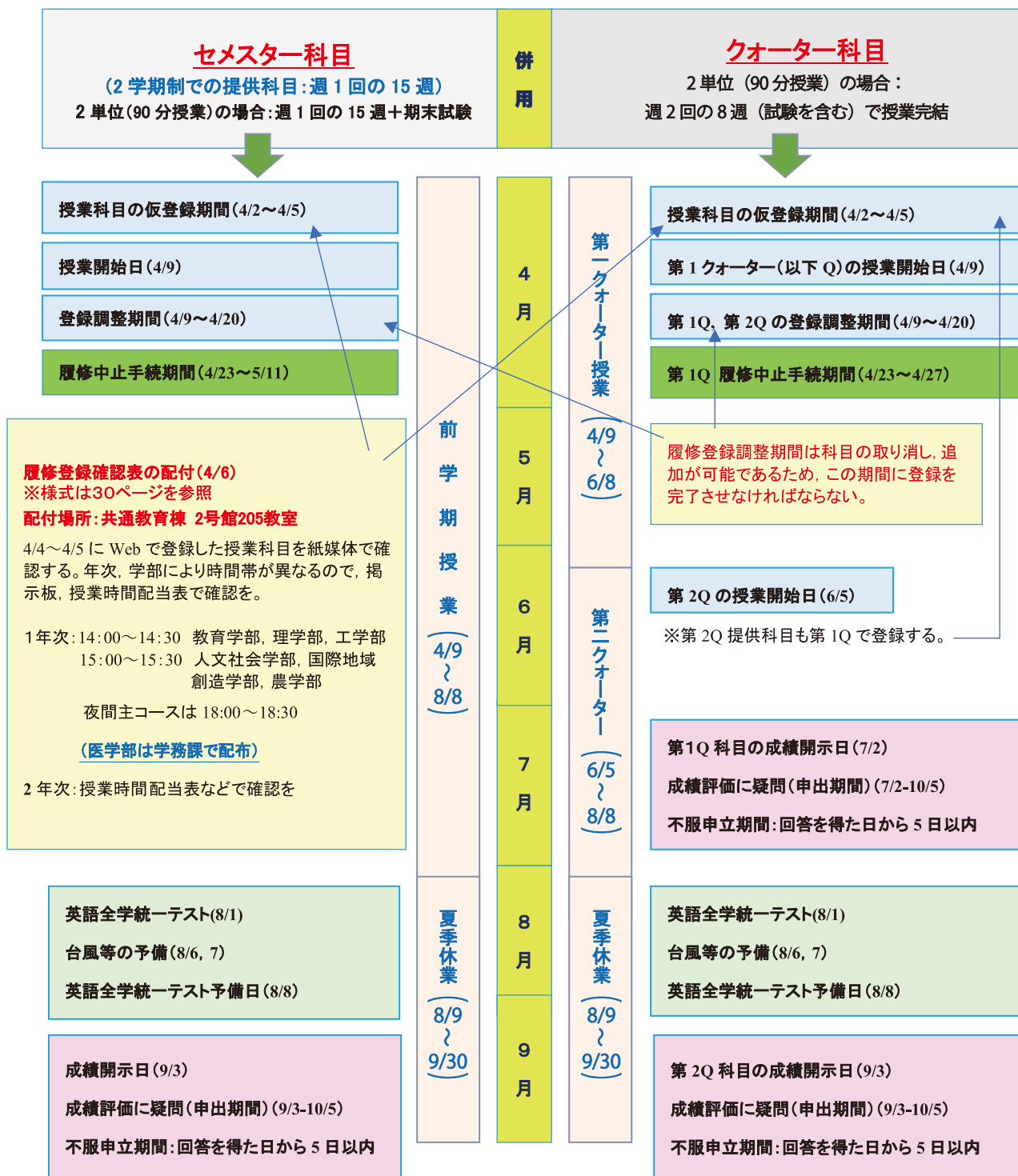
31
1日: 成績開示(後学期・第4クォーター)
12~13日: 入学者選抜試験(後期日程)☆
20日: 卒業式
31日: 学年・後学期終了



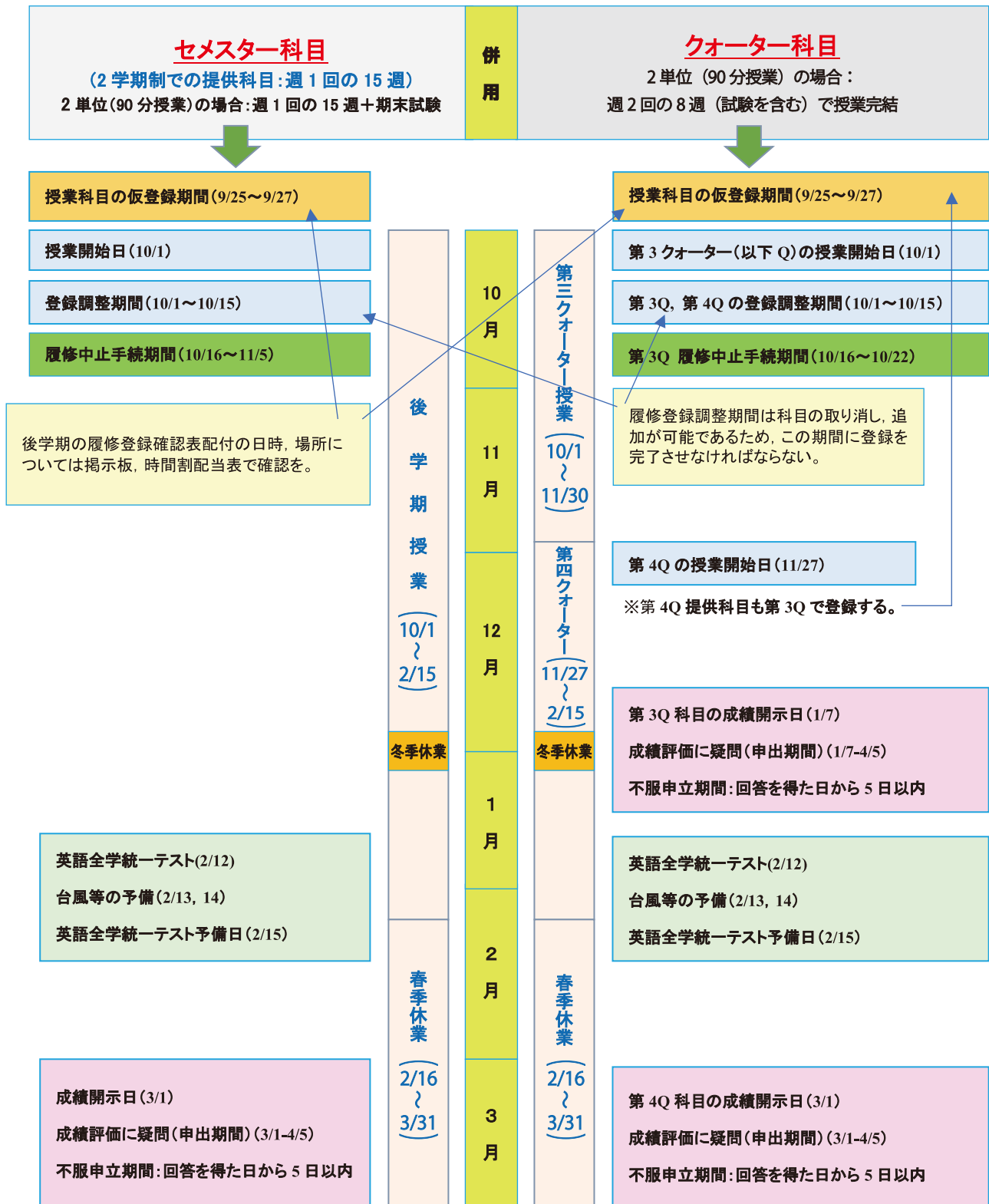
「履修登録」「履修中止」「成績評価不服申立」などの1年間の流れ

本学におけるクォーター科目とは、前学期と後学期のそれぞれ前半と後半に、8週（試験を含む）で授業を行う科目のことです。従来の2学期制のセメスター科目とクォーター科目の履修登録、履修中止、成績評価不服申立の期間などについて確認しましょう。（クォーター科目については34ページを参照）

平成30年度前学期、第1・第2クォーター



平成30年度後学期, 第3・第4クォーター





学生便覧・授業時間配当表の閲覧、 教務情報システムを利用した授業科目の登録・取消し、 成績確認、アンケートへの回答方法など

学生便覧、授業時間配当表はWeb上で公開しています。インターネットが利用できる端末（パソコン、スマートフォン、タブレット型コンピュータ）で「琉球大学教務情報」と検索すると、ページを開くことができます。

学生は、授業科目の登録・取消しや成績の確認、シラバス検索などは、教務情報システムを介して行います。システムを利用するに当たってはIDとパスワードが必要となります。IDとパスワードは、新入生の学科別オリエンテーションにおいて配付します。他の学生に知られることのないよう、その取扱いには十分注意しましょう。

また、本学では教育の質保証及び改善ため、あるいは4(6)年間の修学意識・状況の変化を学生自身が振り返ることができるよう、学生へのアンケート調査を実施しています。これらのアンケートもシステムを介して回答することになりますので、アンケート実施の際は積極的な協力をお願いします。回答した内容はすべて統計的に処理され、個人が特定される形で公表されることはありません。教務情報システムの利用方法マニュアルも掲載していますので、確認してください。

1. 学生便覧・授業時間配当表の見方

【琉球大学 教務情報ページ】

【URL】 <http://rais.std.u-ryukyu.ac.jp/dc/>

琉球大学 教務情報

The screenshot shows the website interface with the following elements:

- ①** 学生便覧 (Student Handbook): A purple book cover with the text '学生便覧' and '琉球大学'.
- ②** 授業時間配当表 (Class Time Allocation Table): A purple document cover with the text '授業時間配当表' and '琉球大学'.
- ③** 教務情報システム・ログイン (Academic Information System Login): A red button labeled '検索' (Search) and a search input field.
- ④** 手続き様式 (Procedure Forms): A list of forms including '休学・復学・退学願様式', '成績評価不服申立関係 手続き様式', and '学生証再交付申請'.

Other visible elements include: 'トップページ TOP', '教務情報 (学生向け) STUDENTS', '教務情報 (教員向け) TEACHERS', '学年暦' (Academic Calendar), 'お知らせ' (Notice), and 'RSS'.

- ① 学生便覧には、規則や各学部、学科のカリキュラム、卒業要件等を掲載しています。
- ② 授業時間配当表には、前学期・後学期に開講される授業科目の曜日・時限等を掲載しています。科目名をクリックすると、シラバス（授業計画）が確認できます。

共通教育科目(昼)																
講義コード	科目番号	科目名	単位	週時間	必修選択	所属	担当教員名	組名	登録人員	受講年次	曜日	時限	教室	期間	調整期間登録(許可コード)	備考
10006901	人01	人間と哲学の短01組	2	2-0		非	新木 順子	1	100	1~4	水	5	共2-205	半年		
10006902	人01	人間と哲学の短02組	2	2-0		法	久高 将晃	2	100	1~5	木	2	共2-201	半年		
10007400	人06	西洋思想と日本・中国の思想	2	2-0		非	安次 雅 勲		100	1~6	水	4	共2-104	半年		
10084700	人09	環境の哲学	2	2-0		法	浜崎 盛彦		100	1~7	火	2	共2-305	半年		

- ③ 教務情報システムにログインができます。
- ④ 休学や退学等の手続きを行う場合に使用する様式をダウンロードできます。

2. 教務情報システムの説明

ログイン画面 【URL】 <https://tiglon.jim.u-ryukyu.ac.jp/portal/>

No	関連ページ	備考
1	シラバス検索	シラバスはこちらから検索できます
2	休講・補講情報	休講・補講情報を確認できます

- ◆ID：総合情報処理センター発行のIDを入力します。
- ◆パスワード：総合情報処理センター発行のパスワードを入力します。
- ◆ログイン：IDとパスワードを入力後、ログインボタンをクリックします。
- ◆シラバスの検索（ID・パスワードなしでも確認可能）
- ◆講義の休講・補講情報（ID・パスワードなしでも確認可能）

3. 授業科目の登録・取消しの方法

○履修登録（仮登録期間）

教務情報システムにログインした後、「履修・成績情報」をクリックし、さらに「履修登録」をクリックします。



履修登録画面（時間割形式）

時間割形式入力 [一覧形式入力](#) 7 確認画面へ

5 時間割検索 6 コード直換入力

追加ボタンを押して時間割リストを表示し、時間割を選択すると時間割が登録されます。

2015年度後期						
	月	火	水	木	金	土
1					1022001717 2単位 後期 [その他の科目] 学校教育特別講義 教員 太郎, 他	
2	1022561432 2単位 後期 [子ども理解系] 学校課題理解活 習 教員 教員	1022011011 2単位 後期 [他学科開設科目] 国語史 教員 太郎 履修A A		1022561434 2単位 後期 [協働実践系] 教職協働実践Ⅲ 教員 教員	1022005457 2単位 後期 [社会的制度的] 教育制度 教員 太郎	
3	1022521397 2単位 後期 [他学科開設科目] 教育史の心理ア セスメント 教員 太郎				1022015014 2単位 後期 [他学科開設科目] 国文学演習Ⅲ 教員 太郎	

① 追加ボタン

履修する コマ（曜日・時限）の「追加ボタン」をクリックします。

その曜日・時限に開講される授業の一覧（② 授業選択画面）が新規画面で表示されます。

授業 選択画面

②

芸術教育		白学部			他学部					
学部名	講義コード	科目名	教員名	時間	単位数	選択区分	定員	登録名数	備考	
1	農学部 70100800	森林経営計画学実習	教員 太郎	水2	追加	1	10		定員充足	
2	農学部 70109100	畜産育種学	教員 太郎	水2	追加	2	30		空きあり	
3	農学部 70114000	土地環境保全学	教員, 教員	水2	追加	2	25		空きあり	
4	農学部 70116000	農業農村整備の基礎	教員, 教員	水2	追加	2	25		定員充足	
5	農学部 70118000	食品生物工学	教員 太郎	水2	追加	2	50		空きあり	

閉じる

③ 追加ボタン(授業)

「追加ボタン」をクリックして履修する授業を選択すると、
③のその曜日・時限に選択した授業が表示されます。

履修登録画面 (時間割形式)

2015年度履修

	月	火	水	木	金	土
1					102270012117 2単位 後期 [その他の科目] 学校教育特別講義 教員 太郎, 花 追加	
2	1022561432 2単位 前期 [子ども理解学] 学校実習特別講義 教員 教員 追加	1022011011 2単位 前期 [化学科開設科目] 高橋史 教員 太郎, 花 他人A 追加	1022060061 2単位 専攻 [英語 分野] 英語特別講義 教員 太郎 追加	1022561434 2単位 前期 [応用実務系] 情報伝達実習 教員 教員 追加	1022005457 2単位 後期 [社会的制度科] 新制度 教員 太郎 追加	

◆選択した授業科目が表示されたら、登録は確定しています。

○履修登録・取消 (登録調整期間)

教務情報システムにログインした後、「履修・成績情報」をクリックし、さらに「履修登録」をクリックします。



2015年度後期						
	月	火	水	木	金	土
1					1022001717 2単位 後期 【その他の科目】 学校教育特別講義 教員 太郎, 他	
2	1022561432 2単位 後期 【子ども理解系】 学校課題理解演習 教員 教員	1022011011 2単位 後期 【他学科開設科目】 国語史 教員 太郎 阪 悠 A A		1022561434 2単位 後期 【協働実践系】 教職協働実践Ⅱ 教員 教員	1022005457 2単位 後期 【社会的制度的】 教育制度 教員 太郎	
3	1022521397 2単位 後期 【他学科開設科目】 障害児の心理ア セスメント 教員 太郎				1022015014 2単位 後期 【他学科開設科目】 国文学演習Ⅱ 教員 太郎	

◆希望の曜日・時限から、「追加」ボタンをクリックすると、授業選択画面が表示されます。

授業 選択画面

共通教育		理学部		他学部					
学部名	講義コード	科目名	教員名	時限	単位数	選択区分	定員	登録者数	備考
農学部	70100800	森林経営計画学演習	教員 太郎	水2	1		10		定員充足
農学部	70109100	水産育種学	教員 太郎	水2	2		30		空きあり
農学部	70114000	土地環境保全学	教員, 教員	水2	2		25		空きあり
農学部	70116000	農業農村整備の基礎	教員, 教員	水2	2		25		定員充足
農学部	70118900	食品生物工学	教員 太郎	水2	2		50		空きあり

◆追加したい科目の「追加ボタン」をクリックします。

Mozilla Firefox
<https://teknin.unn.kyuc.jp/Portal/text/StudentApp/Recist/AddRecistRec.asp?TabId=1>

登録を完了するには、許可コードを入力して実行ボタンを押してください。

講義コード	10139800-
科目番号	101398
科目名	地域課題フィールドワーク演習
担当教員	
許可コード	<input type="text"/>

キャンセル 実行

- ◆許可コード入力画面が表示されますので、授業担当教員からもらった許可コードを入力します。
- ◆科目の取消をしたい場合は、時間割の「削除ボタン」をクリックします。許可コード入力画面が表示されますので、授業担当教員からもらった許可コードを入力します。

4. 成績の確認方法

教務情報システムにログインした後、「履修・成績情報」をクリックし、さらに「成績参照」をクリックします。



「成績明細の表示」で、過去の成績や対象年度・学期の成績の確認ができます。また、個別成績表の表示で全部の成績が確認できます。



5. アンケートへの回答

アンケートを実施している場合は、ログイン後に、次のようなメッセージが表示されますのでご協力をお願いします。



文字サイズ 小 中 **大** | 日本語 | English

国立大学法人 琉球大学
UNIVERSITY OF RYUKYUS

さん

未回答のアンケートがあります。
[ここをクリック](#)して回答画面に移動してください。

★ 1-② 一年生/理学/海自/生物 琉球大学 学生基礎データ調査 2016年度後学期
回答締切日:03/31(金)

注意！ 締切を過ぎてもご回答頂けない場合はこの画面がスキップできなくなります。

[遠隔システムを使用後速ちに回答を行う](#)



文字サイズ 小 中 **大** | 日本語 | English

国立大学法人 琉球大学
UNIVERSITY OF RYUKYUS

さん

トップページ Top page | 成績・成績情報 Course grades | ポートフォリオ Portfolio | 学籍情報 Registrar information | メッセージ Messages | 設定 Setting

お知らせ検索 | リンク | 授業情報 | アンケート回答 | アンケート履歴 | アンケート集計結果

生誕行事予定 | ログイン履歴

・新しいメッセージが 5 件 あります

マニュアル

未回答のアンケートがあります。
[ここをクリック](#)して回答画面に移動してください。

★ 1-② 一年生/理学/海自/生物 琉球大学 学生基礎データ調査 2016年度後学期
回答締切日:03/31(金)

注意！ 締切を過ぎてもご回答頂けない場合はこの画面がスキップできなくなります。

お知らせ一覧

公開中 ● 未読 更新 カテゴリー表示設定

日付	未読	カテゴリー	件名
2017/03/23 11:00:53	●	無題	【3/23 For All Student】平成27年度 学生基礎データ調査について (通知)

6. その他住所変更等の入力

本人住所情報と保証人情報を入力し、変更が生じたらその都度修正してください。



[トップページ](#) > 学籍情報照会

学籍情報	
基本情報	本人住所情報
郵便番号	903-0213
住所	沖縄県中頭郡西原町字千原 1
住居区分	
電話番号	098-895-
携帯電話	
PCメールアドレス	
携帯メールアドレス	
大学メールアドレス	
本人勤務先名	
勤務先郵便番号	
勤務先住所	北海道
勤務先電話番号	
勤務先メールアドレス	

※「編集」をクリックすると、編集可能画面に切り替わります。



[トップページ](#) > 学籍情報照会

学籍情報	
基本情報	保証人情報
氏名	
フリガナ	
続柄	
郵便番号	
住所	
電話番号	
携帯電話	
メールアドレス	
携帯メールアドレス	

※「編集」をクリックすると、編集可能画面に切り替わります。

IV

大学の教育課程

大学設置基準第19条第2項に「教育課程の編成に当たっては、大学は、学部等の専攻に係る専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう適切に配慮しなければならない。」と規定されています。これに基づいて大学は教育課程を編成しています。

本学の教育課程は、共通教育科目、専門基礎科目及び専門科目から成り立っています。これらの各授業科目の有機的連携を図るため、1年次から専門科目が履修できるようにするとともに3年次以上であっても共通教育等科目が履修できるよう4年（6年）一貫教育に基づく教育課程を編成しています。

学生は、専門知識を修得するとともに常に広い視野に立ってあらゆる事象に対する科学的な学究態度、豊かな人間観を築いてください。

1. 学士課程教育プログラムによる4(6)年一貫教育

本学では、平成24年度からURGCC（琉大グローバルシティズン・カリキュラム：University of the Ryukyus Global Citizen Curriculum）を実施しています。URGCCとは、本学の学生の「学士力」を保証し、「21世紀型市民」へと養成するために行うものです。全学生が卒業するまでに達成するURGCC学習教育目標として、「自律性」「社会性」「地域・国際性」「コミュニケーション・スキル」「情報リテラシー」「問題解決力」「専門性」の7つを定めています。学生は、所属する学士教育プログラムにおいて、卒業時までにURGCC学習教育目標の達成を目指すことになります。

学生は、7つの学習教育目標を踏まえ、卒業するまでに自分がどのような能力を身につけるべきか、あるいはどのような進路を歩むべきか等について考えてみてください。そして、主体的に目標を定め、その目標の達成に向けて大学生活を意義あるものにしてください。詳しくは入学時に配付されます右記の「URGCC琉球大学学士教育プログラム（平成30年度）」に記載していますので確認してください。

また、本学では、大学及び各学部の学士教育プログラムごとのディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを定めており、本学の公式Webサイト（http://www.u-ryukyu.ac.jp/univ_info/index.html）、教務情報システムの「学生便覧」及び上記の冊子にも掲載しております。



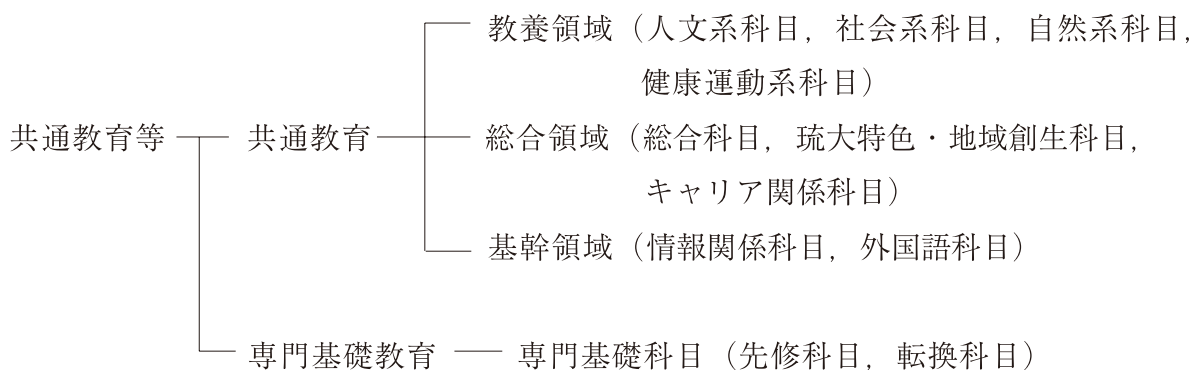
平成30年度のURGCC琉球大学
学士教育プログラムの冊子

2. 共通教育等の特徴とその構成

本学の授業科目は、共通教育科目、専門基礎教育科目及び専門教育科目に区分されます。共通教育科目と専門基礎教育科目を合わせて共通教育等科目とといいます。専門教育科目は、所属する学部・学科が提供する授業科目です。

共通教育等科目を履修する目的は、時代の変化に対応する能力や幅広く深い教養と総合的な判断力を培うことによって、提起される諸問題を積極的に解決していこうとする主体的な人間を形成することです。

(1) 共通教育科目



〈教養領域〉

教養領域では、学生が人文、社会、自然の3つの系内にある諸科学の内容や特有な課題に通じ、問題解決に必要な固有の知識や方法を身につけ、それらを現代的状況へ応用する能力を養うことを期待しています。また、多面的に問題を捉える態度や資質を向上させてください。

この領域の授業科目は、現代的な状況や問題、個々の学生の興味・態度に配慮したテーマや内容に基づいて設定されています。例えば、「人間と倫理」(倫理学)、「現代社会のしくみ」(社会学)、「数の文化」(数学)等です。健康運動系科目では、理論や実技を有機的に結合した授業科目や学生の興味・関心に応じた種目別の多様な実技科目を提供しています。

〈総合領域〉

この領域の科目群は、総合科目、琉大特色・地域創生科目、キャリア関係科目から成ります。

総合科目は、人文・社会・自然の3分野を横断する科目として設置しています。また、一方では、所属する学部・学科は異なりますが、隣接領域にある複数の教員が、それぞれのアプローチで、共同で担当しなければならないテーマ(例えば、「核の科学」「動物実験の基礎」)を扱う授業科目が含まれています。

琉大特色・地域創生科目は、総合科目と同様のアプローチでありながら沖縄の地域の歴史・文化・自然環境等に焦点を当て、琉大の理念（「真理の探求」「地域・国際社会への貢献」「平和・共生の追求」）を具現化する科目であり、地域が抱える諸課題に関する理解を深め、地域の維持・発展に対して主体的かつ能動的に貢献できる人材を養成するための科目です。

キャリア関係科目は、在学中にキャリア形成に関する意識を啓発し、社会的・職業的自立に向けて、必要な基盤となる能力や態度を育てることを目的としています。初年次向けの「キャリア形成入門」から課題解決型の実践的な科目、高年次向けの「キャリア形成実践」などの科目を提供しています。

〈基幹領域〉

どのような学問領域を専攻しようとも、その基礎や土台をなす知識や技能が必要不可欠です。このような能力を養うのが基幹科目です。したがって、この領域の科目は、学部・学科・課程や専攻の如何を問わず、すべての学生にその履修と習熟が期待されています。この領域は、外国語科目と情報関係科目（情報科学演習と日本語表現法入門）から成ります。

外国語は、「英語」「ドイツ語」「フランス語」「スペイン語」「ラテン語」「ギリシャ語」及び「ロシア語」、また、アジアの言語からは、「中国語」「朝鮮語」「タイ語」「ヴェトナム語」及び「インドネシア語（夜間主の時間帯にのみ開講）」が開講されています。英語科目では基礎的な学習を要する部分を終了した後に、文系、理系それぞれの学生にふさわしい教材を使用して、学生の学習意欲の向上と専門教育とのつながりを持たせるよう工夫されています。

情報関係科目は、あらゆる学問の基礎となる情報処理能力と日本語表現能力を訓練するために、専門科目を履修する前に受講して欲しい科目です。

(2) 専門基礎科目

専門基礎科目は、理系学生が理科教養を身につけるための基礎的科目で、「数学」「物理」「化学」「生物」「地学」の各講義と実験があります。これらの科目は、高校までの教育と、大学の理科系の専門教育を繋ぐ科目として、理系学部の状況に応じて履修する科目です。

この専門基礎科目は、先修科目と転換科目から成ります。

〈先修科目〉

先修科目は、理系の専門科目を履修するために必要な基礎を学ぶ科目です。学部・学科等の専門教育の内容によって、必修科目（又は選択必修科目）が設定され、学生が所属する学部・学科等によって優先的に履修登録できるクラスが指定されています。「授業時間配当表」の指定学部・学科欄を確認して、履修登録を行ってください。

〈転換科目〉

転換科目は、高校と大学の橋渡しをよりスムーズに行う目的で開講され、高校で「数

学」「物理」「化学」を履修していない学生のために、高校教育の内容から先修科目の内容まで講義する、補完科目として位置づけられています。これらの分野では、高校での履修・未履修によって大学入学時の理解度がかなり違い、最初から先修科目を履修するのが困難な学生もいるため、この転換科目を開設しています。

転換科目は、「微分積分学入門Ⅰ・Ⅱ」「物理学入門Ⅰ・Ⅱ」「化学入門Ⅰ・Ⅱ」から成ります。これに対応する先修科目はそれぞれ「微分積分学ST(スタンダードコース)Ⅰ・Ⅱ」「物理学Ⅰ・Ⅱ」「化学Ⅰ・Ⅱ」です。

転換科目は、先修科目の前に履修することが望ましいですが、学部・学科等によっては、これらの科目を履修した学生は、これに対応する先修科目を履修しなくてもよい場合があります。すなわち、高校で「数学」「物理」「化学」を未履修の学生は、転換科目の「微分積分学入門Ⅰ・Ⅱ」「物理学入門Ⅰ・Ⅱ」「化学入門Ⅰ・Ⅱ」を履修し、履修後は、先修科目の「微分積分学ST(スタンダードコース)Ⅰ・Ⅱ」「物理学Ⅰ・Ⅱ」「化学Ⅰ・Ⅱ」を履修したと同等に考え、次のステップに進む履修方法です。この履修方法だと、転換科目を履修しても先修科目と同一の期間に必要な単位を修得できる利点があります。

転換科目を履修する際には、必ず指導教員の履修指導を受けてください。

3. 単位制

単位とは、学生の学修の量を示す基準となるものであり、この単位数によって勉学の達成度が計算され、卒業の可否が決定されます。授業料目の単位は、学生が教室で講義を受ける時間と授業時間外に必要な学習時間等を考慮し計算しています。1単位の授業科目は、45時間の学習を必要とする内容をもって構成することが標準となっています。講義・演習の場合、「教室内での15時間の授業」+「教室外の学修(事前(予習)・事後(復習))30時間」=45時間で、自主的な学修30時間(2単位の場合は30時間×2単位=60時間)が求められます。

大学における勉学は、学生の積極的、自主的な学習不可欠の要素として重視されていることに十分留意してください。

4. 履修計画

履修計画とは、大学に入学してから卒業するまでに、いつ(何年次・何学期に)、何を(どの科目を)、どれだけ(何単位)履修するかを計画することです。

各学部は、学士教育プログラムごとに学生が大学の授業を通して卒業するまでに身に付けてほしい知識・技能をディプロマ・ポリシーで定めています(13ページで紹介した冊子「学士教育プログラム」に掲載しています)。そして、ディプロマ・ポリシーで定めた知識・技能を獲得するために、卒業までの4(6)年間で何を(どの科目を)、どれだけ(何単位)

履修すべきかを定めているのが、所属する学部・学科等が定める卒業要件です。学生は、卒業要件で定められた科目・単位を修得することで、各学士教育プログラムが目標としている知識・技能を身に付けることができます。

共通教育及び専門基礎教育の履修すべき授業科目は、「各学部学科等別共通教育等履修基準」(☞19ページを参照)に定められています。また、専門教育の履修すべき授業科目は所属する学部・学科の各学部規程で規定されています。

卒業要件では、何を(どの科目を)、どれだけ(何単位)履修すべきかが分かりますが、これらの科目を、いつ(何年次・何学期に)履修すべきか分かりません。例えば、1年次から専門性の高い科目を履修しても、授業内容について行けずに、必要な知識・技能を身に付けることはできません。まずは基礎科目を履修して、専門教育に必要な基礎的な力を付けてから次のステップに進む必要があるため、何をいつ履修すべきかを考えることも重要です。そこで、各学部・学科では、履修計画を立てる際に参考となる「履修モデル」を作成しています。

共通教育科目及び専門基礎科目、専門教育の授業科目に関する履修計画を立てる場合には、卒業要件と履修モデルを参考にして、必要な科目を適切な時期に履修できるようにしてください。その際、特に留意すべき事項は次のとおりです。

(1) 各学部学科等別共通教育等履修基準

- ① 学生は、各学部・学科等が定める共通教育等履修基準表(☞19ページを参照)(教務情報ページ<http://rais.std.u-ryukyu.ac.jp/dc/>で公開)に基づいて必要な科目と単位を履修しなければなりません。「履修基準表」に明記されている授業科目は必ず履修するとともに、学科等が特に指定した領域(例えば「人文、社会及び総合領域から10単位」など)は必ずその領域から選択し、また学科等が履修するのが望ましいと示した科目も履修するように努めてください。
- ② 共通教育等の履修基準は、各学部・学科等の独自性を出しながら、科目数や単位数が設定されていますので、学生は、指導教員から詳細かつ十分な履修指導を受ける必要があります。健康運動系科目は、講義及び多様な実技を含んだ演習から成り、いずれも2単位となっています。また、外国語科目は、多くの学部・学科等で8単位以上の修得を基準としています。なお、「英語」「ドイツ語」「フランス語」「スペイン語」「中国語」「朝鮮語」「インドネシア語(夜間主の時間帯にのみ開講)」、「タイ語」及び「ヴェトナム語」はそれぞれ8単位以上の履修が可能ですが、「ラテン語」「ロシア語」及び「ギリシャ語」は4単位までしか履修できませんので、初修外国語を8単位以上履修する場合は注意が必要です。健康運動系科目や基幹領域の外国語科目、情報関係科目の履修方法についても、指導教員の履修指導に従ってください。
- ③ 本学での共通教育等科目は、基本的には学生の自主的な選択により履修することになっており、学部・学科等ごとに定めている卒業要件を満たすよう履修計画を立てて、時間割を各自で編成することになります。各学部・学科等が共通教育等科目の必修科目として定めた科目(主に英語科目、情報関係科目、専門基礎科目)については、学

生が卒業に必要な科目を優先的に履修できるように指定クラスを設けて、「授業時間配当表」の指定学部学科欄に記載しています。自分の必修科目と指定クラスを確認して、計画的な履修登録を行ってください。

(2) 各学部で定める卒業要件

学生は、所属する学部・学科等の定める卒業要件に基づいて、必要な科目と単位を履修しなければなりません。学科・課程・専攻等によっては、1年次から専門科目を履修することもありますので、指導教員の指導を必ず受けてください。

(3) 1 個学期に登録できる単位数

1 個学期に登録できる単位数は20単位ですが、20単位超過の条件も設定されていますので、その範囲は指導教員に確かめてください。(☞32ページを参照)

(4) 16単位未満による除籍

卒業に要する最終学年（卒業に必要でかつ十分な科目及び単位の登録を完了した者。41ページの「5. 除籍」を参照。）を除き、1年間に最低16単位は必ず修得しなければなりません。16単位を修得できないときは、除籍となりますが、平成30年度から16単位修得未満であっても次年度に修学を継続する意思があつて、「修学継続届」（様式の入手は☞5ページの④手続き様式を参照）を所定の期日までに当該学部長へ届けることにより、1回に限り除籍対象から除かれることとなりました。(☞41ページを参照)

(5) 教員免許状の取得

教員免許状を取得しようとする学生は、卒業要件以外に「教育職員免許法」（学生便覧参照）及び同法施行規則に基づく教科に関する科目及び教職に関する科目等を修得しなければなりません。

卒業要件と教員免許要件が一致している教育学部の学校教育教員養成課程以外の学生は、特にこの点を配慮して効果的な履修計画を立てる必要があります。

教員免許状を取得する場合は、共通教育等の社会系科目、健康運動系科目、外国語科目、情報関係科目から定められた科目が必修となります。「教育職員免許法」で指定した専門科目を登録する際に、その専門科目の基礎となる共通教育科目及び専門基礎科目を履修していないと登録ができない科目もあるので十分留意する必要があります。詳しくは所属する学部の「教員免許状の手引」を確認してください。

(6) その他

留学する場合には、所属する学部・学科等の定める卒業要件と留学中に履修する予定の授業科目及び単位との関係について、事前に指導教員及び所属学部事務部と十分に相談してください。

5. 各学部学科等別共通教育等履修基準表

■人文社会学部

学部	学科課程等	夜間主の別	昼間主の別	入学定員	共通教育										専門基礎教育	備考	合計(単位)
					教養領域				総合領域			基幹領域					
					健康運動	人文	社会	自然	総合	琉大特色・地域創生	キャリア関係	情報関係	外国語	専門基礎			
国際法政学科	80	法政プログラム	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	20単位以上 平和共生・沖縄理解科目群（別表に記載）から6単位以上					12 単位以上	○第一外国語は8単位以上 ○第二外国語4単位以上	卒業要件の単位には含めない	34 単位以上		
		政治・国際関係学プログラム	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	20単位以上 平和共生・沖縄理解科目群（別表に記載）から6単位以上					12 単位以上	○第一外国語は8単位以上 ○第二外国語4単位以上	卒業要件の単位には含めない	34 単位以上		
	80	哲学・教育学プログラム	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	22単位以上 平和共生・沖縄理解科目群（別表に記載）から6単位以上			2 単位以上		12 単位以上	○第一外国語は8単位以上 ○第二外国語4単位以上	卒業要件の単位には含めない	36 単位以上		
		心理学プログラム	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	22単位以上 平和共生・沖縄理解科目群（別表に記載）から6単位以上			2 単位以上		12 単位以上	○第一外国語は8単位以上 ○第二外国語4単位以上	卒業要件の単位には含めない	36 単位以上		
		社会学プログラム	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	22単位以上 平和共生・沖縄理解科目群（別表に記載）から6単位以上			2 単位以上		12 単位以上	○第一外国語は8単位以上 ○第二外国語4単位以上	卒業要件の単位には含めない	36 単位以上		
	琉球アジア文化学科	40	歴史・民族学プログラム	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	18単位以上 平和共生・沖縄理解科目群（別表に記載）から6単位以上				2 単位以上	16 単位以上	○第一外国語は8単位以上 ○第二外国語8単位以上	卒業要件の単位には含めない	36 単位以上	
言語学プログラム			2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	18単位以上 平和共生・沖縄理解科目群（別表に記載）から6単位以上				2 単位以上	16 単位以上	○第一外国語は8単位以上 ○第二外国語8単位以上	卒業要件の単位には含めない	36 単位以上		
文学プログラム		2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	18単位以上 平和共生・沖縄理解科目群（別表に記載）から6単位以上				2 単位以上	16 単位以上	○第一外国語は8単位以上 ○第二外国語8単位以上	卒業要件の単位には含めない	36 単位以上			
計		200															

別表 平和共生・沖縄理解科目群 指定科目一覧

科目番号	科目名
社06	戦争と平和の諸問題
人06	西洋思想と日本・中国の思想
人09	環境の哲学
人19	人間と宗教
人42	東洋の歴史と文化
人43	西洋の歴史と文化
人44	日本の歴史と文化
人47	宗教と世界
人67	比較思想文化論
総12	環境の保全
総14	環境問題
総47	総合環境学概論

科目番号	科目名
総62	環境と文学
総64	女性と社会
総85	現代の国際関係
琉01	平和論
琉02	核の科学
琉05	沖縄の基地と戦跡Ⅰ
琉06	沖縄の基地と戦跡Ⅱ
琉14	琉球の文学
琉22	琉球の自然
琉23	琉球の自然保護
琉24	沖縄のサンゴ礁
琉25	琉球弧の自然誌

科目番号	科目名
琉26	琉球の地理
琉41-2	琉球アジア研究入門
琉46	沖縄の政治と社会
琉48	うちなーぐちあしび
琉50	沖縄の学力と教育
琉51	琉球語入門Ⅰ
琉52	琉球語入門Ⅱ
琉54	沖縄の歴史入門
琉55	琉球学入門
琉56	琉球の自然と人
琉71	現代沖縄地域論

国際地域創造学部 (1)

学部	学科課程等	夜間主の別	入学定員	専攻・専系	共通教育										専門基礎教育	備考	合計(単位)
					教養領域				総合領域			基幹領域					
					健康運動	人文	社会	自然	総合	琉大特色・地域創生	キャリア関係	情報関係	外国語	専門基礎			
国際地域創造学部	国際地域創造学	夜間主	265	観光地域デザインプログラム	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上		4 単位以上		12 単位以上	卒業要件の単位には 含めない	30 単位以上			
					指定科目なし				16単位以上 ※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係、情報関係の中から合計16単位以上			○第一外国語は8単位以上 ○第二外国語4単位以上					
					指定科目なし	指定科目なし				16単位以上 ※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係、情報関係の中から合計16単位以上			○第一外国語は8単位以上 ○第二外国語4単位以上				
						指定科目なし				16単位以上 ※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係、情報関係の中から合計16単位以上			○第一外国語は8単位以上 ○第二外国語4単位以上				
					指定科目なし	指定科目なし				16単位以上 ※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係、情報関係の中から合計16単位以上			○第一外国語は8単位以上 ○第二外国語4単位以上				
指定科目なし				16単位以上 ※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係、情報関係の中から合計16単位以上			○第一外国語は8単位以上 ○第二外国語4単位以上										
指定科目なし	指定科目なし				12単位以上 ※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係、情報関係の中から合計12単位以上			○第一外国語が英語の場合、第二外国語は「インテンスイブドイツ語I・II」、「インテンスイブフランス語I・II」、「インテンスイブスペイン語I・II」のうちから1つの言語を選択する。 ○第一外国語が英語以外の言語で、第二外国語で英語を選択する場合、「大学英語」「英語購読演習中級」を含み8単位、あるいは第一外国語で選択した言語以外の同一言語から8単位									
	指定科目なし				12単位以上 ※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係、情報関係の中から合計12単位以上			○第一外国語が英語の場合、第二外国語は「インテンスイブドイツ語I・II」、「インテンスイブフランス語I・II」、「インテンスイブスペイン語I・II」のうちから1つの言語を選択する。 ○第一外国語が英語以外の言語で、第二外国語で英語を選択する場合、「大学英語」「英語購読演習中級」を含み8単位、あるいは第一外国語で選択した言語以外の同一言語から8単位									
指定科目なし	指定科目なし				16単位以上 ※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係、情報関係の中から合計16単位以上			○第一外国語は8単位以上 ○第二外国語4単位以上									
	指定科目なし				16単位以上 ※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係、情報関係の中から合計16単位以上			○第一外国語は8単位以上 ○第二外国語4単位以上									

■国際地域創造学部 (2)

学部	学科課程等	夜間主の別	入学定員	専攻・専系	共通教育								専門基礎教育	備考	合計(単位)
					教養領域				総合領域			基幹領域			
					健康運動	人文	社会	自然	総合	琉大特色・地域創生	キャリア関係	情報関係	外国語		
国際地域創造学部	国際地域創造学科	夜間主コース	80	経営プログラム	2 単位以上	4 単位以上	4 単位以上	4 単位以上				12 単位以上	卒業要件の単位には 含まない	40 単位以上	
					指定科目 なし	指定科目なし					○第一外国語は8単位以上 ○第二外国語4単位以上				
					26単位以上 ※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係、情報関係の中から合計26単位以上										
国際地域創造学部	国際地域創造学科	夜間主コース	80	経営プログラム	2 単位以上	4 単位以上	4 単位以上	4 単位以上				12 単位以上	卒業要件の単位には 含まない	40 単位以上	
					指定科目 なし	指定科目なし					○第一外国語は8単位以上 ○第二外国語4単位以上				
					26単位以上 ※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係、情報関係の中から合計26単位以上										
国際地域創造学部	国際地域創造学科	夜間主コース	80	国際言語文化プログラム	2 単位以上	4 単位以上	4 単位以上	4 単位以上				16 単位以上	卒業要件の単位には 含まない	40 単位以上	
					指定科目 なし	指定科目なし					○第一外国語は英語とし、「大学英语」、「英語購読演習中級」、及び選択科目から1科目の8単位を履修すること ○第二外国語は、「ドイツ語入門Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」、「インテンシブフランス語Ⅰ・Ⅱ」、「スペイン語入門Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」、「中国語基礎Ⅰ、Ⅱ」のうちから一つの言語を選択して8単位				
					22単位以上 ※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係、情報関係の中から合計22単位以上										
計			345												

■教育学部 (2)

教育学部	学校 教育 教員 養成 課程	140	美術教育専修	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上			2 単位以上	6単位又は8単位以上	○美術関係科目は、共通教育科目としては、2単位までしか最低履修単位と認めない。	20 単位以上			
				指定科目なし	指定科目なし	憲法概論	指定科目なし			情報科学演習	○英語のみの場合は「大学英語」4単位を含む6単位 ○英語以外の一つの外国語を履修する場合は6単位 ○2つの外国語の場合は各々4単位の計8単位					
				上記単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係から合計10単位以上												
				14単位以上												
				保健体育専修	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上		2 単位以上			6単位又は8単位以上	○英語のみの場合は「大学英語」4単位を含む6単位 ○英語以外の一つの外国語を履修する場合は6単位 ○2つの外国語の場合は各々4単位の計8単位	20 単位以上
					指定科目なし	憲法概論	指定科目なし			情報科学演習						
					14単位以上											
技術教育専修	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上		2 単位以上	6単位又は8単位以上	4単位以上	○英語のみの場合は「大学英語」4単位を含む6単位 ○英語以外の一つの外国語を履修する場合は6単位 ○2つの外国語の場合は各々4単位の計8単位 ○物理学入門 I・II	24 単位以上					
	指定科目なし	憲法概論	指定科目なし			情報科学演習										
	14単位以上															
生活科学教育専修	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上		2 単位以上	6単位又は8単位以上	○英語のみの場合は「大学英語」4単位を含む6単位 ○英語以外の一つの外国語を履修する場合は6単位 ○2つの外国語の場合は各々4単位の計8単位	20 単位以上						
	指定科目なし	憲法概論	指定科目なし			情報科学演習										
	14単位以上															
英語教育専修	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上		2 単位以上	6単位又は8単位以上	○英語のみの場合は「大学英語」4単位を含む6単位 ○英語以外の一つの外国語を履修する場合は6単位 ○2つの外国語の場合は各々4単位の計8単位	20 単位以上						
	指定科目なし	憲法概論	指定科目なし			情報科学演習										
	14単位以上															
特別支援教育専修	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上		2 単位以上	6単位又は8単位以上	○英語のみの場合は「大学英語」4単位を含む6単位 ○英語以外の一つの外国語を履修する場合は6単位 ○2つの外国語の場合は各々4単位の計8単位	20 単位以上						
	指定科目なし	憲法概論	指定科目なし			情報科学演習										
	14単位以上															
計	140															

理学部

学部	学科課程等	夜間主の別	入学定員	共通教育										専門基礎教育	備考	合計(単位)
				教養領域				総合領域			基幹領域					
				健康運動	人文	社会	自然	総合	琉大特色・地域創生	キャリア関係	情報関係	外国語	専門基礎			
理 学 部	数 理 科 学 科		40	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	指定科目なし			8 単位以上	12単位以上	(注1) 健康運動系及び外国語を除いて、24単位を超えて修得した共通教育及び専門基礎教育の授業科目の単位については、6単位まで専門教育の自由科目として読み替えることができる。ただし、専門基礎科目の「微分積分学入門Ⅰ及びⅡ」「微分積分学STⅠ及びⅡ」の4授業科目を除く。 (注2) 健康運動系科目は教員免許と関係するからその点を留意して授業科目を選択すること。	34 単位以上		
				指定科目なし	12単位以上			○英語4単位以上 ○上記以外の一つの外国語4単位以上	○微分積分学ADⅠ ○微分積分学ADⅡ ○線形代数学Ⅰ ○線形代数学Ⅱ ○線形代数学演習Ⅰ ○線形代数学演習Ⅱ							
				14単位以上												
				2 単位以上	4 単位以上	4 単位以上	6 単位以上			12 単位以上	13単位以上	(注1) 高等学校で物理学を履修していない学生は、物理学Ⅰ・Ⅱの代わりに物理学入門Ⅰ・Ⅱを履修することができる。 (注2) 高等学校で微分積分を履修していない学生は、微分・積分学STⅠ・Ⅱの代わりに微分・積分学入門Ⅰ・Ⅱを履修することができる。また、微分・積分に十分な学力のある学生は、微分・積分学STⅠ・Ⅱの代わりに微分積分学ADⅠ・Ⅱを履修することができる。 (注3) 高等学校で化学を履修していない学生は、化学Ⅰ・Ⅱの代わりに化学入門Ⅰ・Ⅱを履修することができる。				
指定科目なし	18単位以上			○英語8単位以上 ○上記以外の一つの外国語4単位以上	○必修9単位 物理学Ⅰ・Ⅱ(注1) 物理学実験、微分積分学STⅠ・Ⅱ(注2) ○下記科目の中から4単位以上履修すること。 化学Ⅰ・Ⅱ(注3) 化学実験、線形代数学Ⅰ・Ⅱ											
20単位以上																
2 単位以上	4 単位以上	4 単位以上	2単位			14 単位以上	13単位以上	○地球科学Ⅰ・Ⅱ(必修)及び物理学Ⅰ・Ⅱ(又は同入門Ⅰ・Ⅱ)、化学Ⅰ・Ⅱ(又は同入門Ⅰ・Ⅱ)の中から4単位 ○上記必修科目として取得した科目以外の下記科目から5単位以上 物理学Ⅰ・Ⅱ(又は同入門Ⅰ・Ⅱ)、物理学実験、化学Ⅰ・Ⅱ(又は同入門Ⅰ・Ⅱ)、化学実験、生物学Ⅰ・Ⅱ、生物学実験、地学実験、微分積分学STⅠ・Ⅱ(又は同入門Ⅰ・Ⅱ)、その他の数学科目								
指定科目なし	16単位以上			○英語10単位以上 ○上記以外の一つの外国語4単位以上												
18単位以上																
2 単位以上	4 単位以上	4 単位以上	6 単位以上			12 単位以上	14単位以上		(注1) 高等学校で微分・積分を履修していない学生は、微分積分学入門Ⅰ・Ⅱを履修することができる。また、微分・積分に十分な学力のある学生は、微分積分学STⅠ・Ⅱの代わりに微分積分学ADⅠ・Ⅱを履修することができる。 (注2) 高等学校で物理学を履修していない、あるいは物理基礎(物理Ⅰ)のみを履修している学生は物理学入門Ⅰ・Ⅱを履修することができる。							
指定科目なし	18単位以上			○英語8単位以上 ○上記以外の一つの外国語4単位以上	○化学実験、化学Ⅰ・Ⅱ(必修) ○下記科目の中から9単位以上履修すること。 微分積分学STⅠ・Ⅱ(注1) 線形代数学Ⅰ・Ⅱ、物理学Ⅰ・Ⅱ(注2) 物理学実験、生物学Ⅰ・Ⅱ、生物学実験、地学実験											
20単位以上																
2 単位以上	4 単位以上	4 単位以上	6 単位以上			12 単位以上	14単位以上	(注1) 高等学校で化学を履修していない学生は、化学Ⅰ・Ⅱの代わりに化学入門Ⅰ・Ⅱを履修することができる。 (注2) 高等学校で物理学を履修していない学生は物理学Ⅰ・Ⅱの代わりに物理学入門Ⅰ・Ⅱを履修することができる。 (注3) 高等学校で微分積分を履修していない学生は、微分積分学STⅠ・Ⅱ(注3)、線形代数学Ⅰ・Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ								
指定科目なし	18単位以上			○英語8単位以上 ○上記以外の一つの外国語4単位以上	○生物学実験、生物学Ⅰ・Ⅱ(必修) ○下記の科目の中から9単位以上履修すること。 化学Ⅰ・Ⅱ(注1)、化学実験、物理学Ⅰ・Ⅱ(注2)、物理学実験、地学実験、微分積分学STⅠ・Ⅱ(注3)、線形代数学Ⅰ・Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ											
20単位以上																
計			200													

医学部

学部	学科課程等	夜間 主 の 別	入学 定 員	専 攻 ・ 専 修	共通教育									専門基礎教育	備 考	合計 (単位)	
					教養領域				総合領域			基幹領域					専門基礎
					健康 運動	人文	社会	自然	総合	琉大特 色・地 域創生	キャリ ア関係	情報 関係	外国語				
医学部	医学科		112		2 単位以上	2 単位以上			6単位			2単位	6単位	3単位	25 単位以上		
					指定科目なし				ヒトの科学と人間の医学（医学概論A） 動物実験の基礎 倫理総合討論	指定科目なし	指定科目なし	情報科学演習	○英語6単位以上	○必修科目（3単位） 統計学 化学実験			
					22単位以上 ※上記の単位（18単位）を含め、さらに人文、社会、琉大特色・地域創生の中から4単位以上選択し、合計22単位以上												
医学部	保健学科		60	看護学コース	2 単位以上	4 単位以上	4 単位以上	4 単位以上	2単位			2 単位以上	8単位		28 単位以上		
					指定科目なし	人間関係論、生命倫理を履修することが望ましい	指定科目なし	ヒトの健康科学	指定科目なし			情報科学演習	○英語8単位 又は ○英語4単位及び他の一つの外国語4単位				
					18単位以上 ※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係、情報関係の中から2単位以上選択し、合計18単位以上												
医学部	保健学科		60	検査技術学コース	2 単位以上	4 単位以上	4 単位以上	4 単位以上	2単位			2 単位以上	8単位	7単位	33 単位以上		
					指定科目なし	指定科目なし	ヒトの健康科学	動物実験の基礎、生命科学入門、熱帯の科学の中から履修することが望ましい。			情報科学演習	○英語8単位 又は ○英語4単位及び他の一つの外国語4単位	○必修科目（7単位） ○化学Ⅰ又は化学入門Ⅱから1科目 ○化学実験 ○生物学Ⅱ ○物理学Ⅱ又は物理入門Ⅱから1科目				
					16単位以上												
計			160														

工学部

学部	学科課程等	夜間主の別	入学定員	共通教育										専門基礎教育	備考	合計(単位)
				教養領域				総合領域			基幹領域					
				健康運動	人文	社会	自然	総合	琉大特色・地域創生	キャリア関係	情報関係	外国語	専門基礎			
工 工 学 学 科 部			350	機械工学コース	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	指定科目 なし	2 単位以上			2 単位以上	12 単位以上	11 単位以上	(注1)微積分学入門Ⅰ・Ⅱ、物理学入門Ⅰ・Ⅱの履修に際しては、指導教員の指導を受けること。 (注2)情報科学演習は卒業要件の単位に含めない。	41 単位以上
				指定科目なし	指定科目なし			14単位以上 上記の指定単位を含め、合計14単位以上(ただし、人文、社会、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係で合計12単位以上)			○日本語表現法入門	○「大学英語」を含む英語8単位以上及び英語以外の一つの外国語4単位以上 又は ○「大学英語」を含む英語12単位以上	○微積分学STⅠ・Ⅱ(又は同入門Ⅰ・Ⅱ) ○物理学Ⅰ・Ⅱ(又は同入門Ⅰ・Ⅱ) ○物理学実験 ○化学入門Ⅰ			
				エネルギー環境工学コース	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	指定科目 なし	2 単位以上			2 単位以上	12 単位以上	14 単位以上	(注1)微積分学入門Ⅰ・Ⅱ、物理学入門Ⅰ・Ⅱの履修に際しては、指導教員の指導を受けること。 (注2)情報科学演習は卒業要件の単位に含めない。	44 単位以上
				指定科目なし	指定科目なし			14単位以上 上記の指定単位を含め、合計14単位以上(ただし、人文、社会、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係で合計12単位以上)			○日本語表現法入門	○「大学英語」を含む英語8単位以上及び英語以外の一つの外国語4単位以上 又は ○「大学英語」を含む英語12単位以上	○微積分学STⅠ・Ⅱ(又は同入門Ⅰ・Ⅱ) ○物理学Ⅰ・Ⅱ(又は同入門Ⅰ・Ⅱ) ○物理学実験 ○化学入門Ⅰ・Ⅱ ○化学実験			
				電気システム工学コース	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	指定科目 なし	2 単位以上			2 単位以上	12 単位以上	10 単位以上	(注)情報科学演習は卒業要件の単位に含めない。	40 単位以上
				指定科目なし	指定科目なし			14単位以上 上記の指定単位を含め、合計14単位以上(ただし、人文、社会、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係で合計12単位以上)			○日本語表現法入門	○「大学英語」、「英語講読演習中級」、「英語プレゼンテーション演習中級」を含む英語8単位以上及び英語以外の一つの外国語4単位以上 又は ○「大学英語」、「英語講読演習中級」、「英語プレゼンテーション演習中級」を含む英語12単位以上	○微積分学STⅠ・Ⅱ ○物理学Ⅰ ○物理学実験 ○化学入門Ⅰ ○化学実験			
				電子情報通信コース	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	指定科目 なし	2 単位以上			2 単位以上	12 単位以上	10 単位以上	(注)情報科学演習は卒業要件の単位に含めない。	40 単位以上
				指定科目なし	指定科目なし			14単位以上 上記の指定単位を含め、合計14単位以上(ただし、人文、社会、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係で合計12単位以上)			○日本語表現法入門	○「大学英語」、「英語講読演習中級」、「英語プレゼンテーション演習中級」を含む英語8単位以上及び英語以外の一つの外国語4単位以上 又は ○「大学英語」、「英語講読演習中級」、「英語プレゼンテーション演習中級」を含む英語12単位以上	○微積分学STⅠ・Ⅱ ○物理学Ⅰ ○物理学実験 ○化学入門Ⅰ ○化学実験			
社会基盤デザインコース	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	指定科目 なし	2 単位以上			2 単位以上	12 単位以上	4 単位以上	(注)化学入門Ⅰ・Ⅱの履修に際しては、指導教員の指導を受けること。	34 単位以上				
指定科目なし	指定科目なし			14単位以上 上記の指定単位を含め、合計14単位以上(ただし、人文、社会、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係で合計12単位以上)			○日本語表現法入門	○「大学英語」を含む英語8単位以上及び英語以外の一つの外国語4単位以上 又は ○「大学英語」を含む英語12単位以上	○微積分学STⅠ・Ⅱ ○物理学Ⅰ・Ⅱ ○化学Ⅰ・Ⅱ(又は同入門Ⅰ・Ⅱ) ○物理学実験 ○化学実験 上記の中から、4単位以上選択							
建築学コース	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	指定科目 なし	2 単位以上			2 単位以上	12 単位以上	8 単位以上	(注)微積分学入門Ⅰ・Ⅱ、物理学入門Ⅰ・Ⅱの履修に際しては、指導教員の指導を受けること。	38 単位以上				
指定科目なし	指定科目なし			14単位以上 上記の指定単位を含め、合計14単位以上(ただし、人文、社会、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係で合計12単位以上)			○日本語表現法入門	○「大学英語」を含む英語8単位以上及び英語以外の一つの外国語4単位以上 又は ○「大学英語」を含む英語12単位以上	○微積分学STⅠ・Ⅱ ○物理学Ⅰ ○物理学実験 ○化学実験							
知能情報コース	2 単位以上	2 単位以上	2 単位以上	指定科目 なし	2 単位以上			2 単位	12 単位以上	8 単位以上	(注)微積分学入門Ⅰ・Ⅱ、物理学入門Ⅰ・Ⅱの履修に際しては、指導教員の指導を受けること。	38 単位以上				
指定科目なし	指定科目なし			14単位以上 上記の指定単位を含め、合計14単位以上(ただし、人文、社会、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係で合計12単位以上)			○日本語表現法入門	○「大学英語」、「英語講読演習中級」、「英語プレゼンテーション演習中級」を含む英語8単位以上及び英語以外の一つの外国語4単位以上 又は ○「大学英語」、「英語講読演習中級」、「英語プレゼンテーション演習中級」を含む英語12単位以上	○微積分学STⅠ・Ⅱ(又は同入門Ⅰ・Ⅱ) ○物理学Ⅰ・Ⅱ(又は同入門Ⅰ・Ⅱ)							
計			350													

農学部

学部	学科課程等	夜間主の別	入学定員	専攻・入系修	共通教育							情報関係	外国語	専門基礎	備考	合計(単位)
					教養領域			総合領域			基幹領域					
					健康運動	人文	社会	自然	総合	琉大特色・地域創生						
農学	亜熱帯地域農学科		35	「健康・スポーツ科学」を含む	4 単位以上	4 単位以上	4 単位以上	指定科目なし			2 単位	12 単位以上	10 単位以上	(注)専門基礎教育の転換科目を履修する場合は、指導教員の指導を受けること。	44 単位以上	
					16単位以上 ※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係科目の中から8単位以上選択し合計16単位以上			情報科学演習	○英語8単位以上 ○上記以外の一つの外国語4単位以上	生物系 生物学Ⅰ・Ⅱ、生物学実験 化学系 化学Ⅰ・Ⅱ(または化学入門Ⅰ・Ⅱ)、化学実験 数学系 微分積分学STⅠ・Ⅱ(または微分積分学入門Ⅰ・Ⅱ)、線形代数Ⅰ・Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ 物理系 物理学Ⅰ・Ⅱ(または物理学入門Ⅰ・Ⅱ)、物理学実験 ○上記4系のうち2系を各5単位以上、計10単位以上。						
	亜熱帯農林環境科学科		35	「健康・スポーツ科学」を含む	4 単位以上	4 単位以上	4 単位以上	指定科目なし			2 単位	12 単位以上	10 単位以上	(注)専門基礎教育の転換科目を履修する場合は、指導教員の指導を受けること。	44 単位以上	
					16単位以上 ※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係科目の中から8単位以上選択し合計16単位以上			情報科学演習	○英語8単位以上 ○上記以外の一つの外国語4単位以上	生物系 生物学Ⅰ・Ⅱ、生物学実験 化学系 化学Ⅰ・Ⅱ(または化学入門Ⅰ・Ⅱ)、化学実験 数学系 微分積分学STⅠ・Ⅱ(または微分積分学入門Ⅰ・Ⅱ)、線形代数Ⅰ・Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ 物理系 物理学Ⅰ・Ⅱ(または物理学入門Ⅰ・Ⅱ)、物理学実験 ○上記4系のうち2系を各5単位以上、計10単位以上。						
地域農業工学科		25	「健康・スポーツ科学」を含む	4 単位以上	4 単位以上	4 単位以上	指定科目なし			2 単位	12 単位以上	12 単位以上	(注)専門基礎教育の転換科目を履修する場合は、指導教員の指導を受けること。	46 単位以上		
				16単位以上 ※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係科目の中から8単位以上選択し合計16単位以上			情報科学演習	○英語8単位以上 ○上記以外の一つの外国語4単位以上	生物系 生物学Ⅰ・Ⅱ、生物学実験 化学系 化学Ⅰ・Ⅱ(または化学入門Ⅰ・Ⅱ)、化学実験 数学系 微分積分学STⅠ・Ⅱ(または微分積分学入門Ⅰ・Ⅱ)、線形代数Ⅰ・Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ 物理系 物理学Ⅰ・Ⅱ(または物理学入門Ⅰ・Ⅱ)、物理学実験 ○上記4系のうち3系からそれぞれ2単位以上、かつ、2系から実験を含め各5単位以上、計12単位以上。							
亜熱帯生物資源科学科		45	生物機能開発学/食品機能科学/発酵・生命科学	4 単位以上	4 単位以上	4 単位以上	指定科目なし			2 単位	12 単位以上	12 単位以上	(注)専門基礎教育の転換科目を履修する場合は、指導教員の指導を受けること。	46 単位以上		
				16単位以上 ※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係科目の中から8単位以上選択し合計16単位以上			情報科学演習	○英語8単位以上 ○上記以外の一つの外国語4単位以上	生物系 生物学Ⅰ・Ⅱ、生物学実験 化学系 化学Ⅰ・Ⅱ(または化学入門Ⅰ・Ⅱ)、化学実験 物理系 物理学Ⅰ・Ⅱ(または物理学入門Ⅰ・Ⅱ)、物理学実験 ○上記3系の各系から2単位以上、かつ、2系を各5単位以上、計12単位以上。							
		健康・栄養科学コース	「健康・スポーツ科学」を含む	2 単位以上	4 単位以上	4 単位以上	指定科目なし			2 単位	12 単位以上	8 単位以上	(注)専門基礎教育の転換科目を履修する場合は、指導教員の指導を受けること。	38 単位以上		
				14単位以上 ※上記の単位を含め、人文、社会、自然、総合、琉大特色・地域創生、キャリア関係科目の中から8単位以上選択し合計16単位以上			情報科学演習	○英語8単位以上 ○上記以外の一つの外国語4単位以上	生物系 生物学Ⅰ・Ⅱ 化学系 化学Ⅰ・Ⅱ(または化学入門Ⅰ・Ⅱ) 物理系 物理学Ⅰ・Ⅱ(または物理学入門Ⅰ・Ⅱ)							
計			140													

6. 履修登録手続き

(1) 履修登録とは

本学の授業科目は選択履修制ですから、「何曜日の」「何時限目の」「どの教員の」「どいう授業を受けるのか」、皆さんが希望する授業科目を担当教員へ申請して承認を得なければなりません。こうした一連の手続きを「履修登録」といいます。

(2) 履修登録手続

履修登録は、Webでの登録となっており、学内の実習室等のパソコンや学外のインターネットに接続した端末（パソコン、スマートフォン、タブレット型コンピュータ）から申請します。その後、配付される「履修登録確認表」で登録内容を確認し、追加の登録や取消を行い、「履修登録確認表」を学生部教育支援課（3年次以上及び医学部医学科2年次以上は所属学部の学務担当）へ提出しなければなりません。登録手続き要領については「授業時間配当表」に記載していますのでよく読んで理解しておきましょう。「授業時間配当表」はWebに掲載しています。

登録の追加・取消の場合は「登録調整処理票」を科目担当教員に提出し、同時に「履修登録確認表」に科目担当教員の捺印、サインを必ず受けてください。

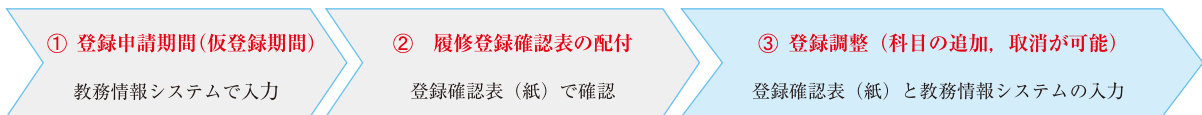
Web履修登録の方法は以下のとおりです。

- ① 毎学期の登録の日時等は、授業時間配当表の登録実施要項等を参照してください。
- ② 学期ごとに授業時間配当表が教務情報ページで公開されますので、自分の時間割を作ってください（授業時間配当表の「登録調整処理票等」の中に「時間割登録ワークシート」がありますので、時間割を作成する際に利用してください）。各学部学科等別共通教育等履修基準表（19ページを参照）に基づき、合計18単位程度は受講するように組んでください。一部の科目については受講クラスが指定されております。これは指定されたクラスに、登録申請すれば、登録が優先されるというものです（授業時間配当表に掲載されている登録実施要項を参照）。
- ③ 授業時間配当表の期間欄に、「通年」とある科目で単位数が4単位のものについては、前学期2単位と後学期2単位を合わせて通年で4単位となっていますので注意してください。通年の科目を前学期だけ又は後学期だけ履修することは、認められません。
- ④ 受講人員には制限があり、Webで履修登録申請しても登録できない場合がありますので、同時間の他の開講科目を用意しておくか、あるいは異なる時間の他の科目で組み換えができるようにしておいてください。
- ⑤ Web履修登録は、学内のパソコン実習室のパソコンか、あるいは学内又は学外のインターネット上から申請します。
- ⑥ 授業開始の日から2週間は登録調整期間です。この期間は自分の時間割を再検討し、受講科目の追加及び取消しができます。
- ⑦ 受講科目を変更する場合は、変更する科目の担当教員に登録調整処理票を提出し、履修登録確認表に登録又は取消の承認印を必ず貰うとともに登録許可コード受け取

り，Web履修登録で追加登録や取消を行ってください（すでに履修登録確認表に印字された科目については，承認印は不要）。

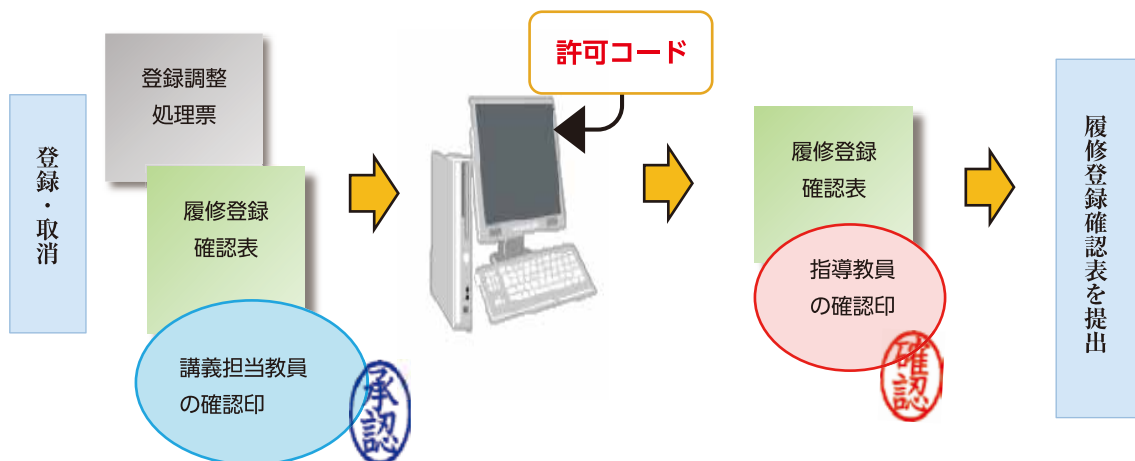
- ⑧ 学生は，登録期間内に履修登録確認表に指導教員印を貰った上で，学生部教育支援課（3年次以上及び医学部医学科2年次以上は所属学部の学務担当）へ提出して登録を完了させます。
- ⑨ 履修登録確認表で登録手続きを完了していない授業を受講しても未登録扱いになり，単位及び成績が認められません。必ず履修登録確認表を提出する前に登録されているか確認してください。
- ⑩ すでに単位を取得した科目は，再度登録することはできません（二重登録の禁止）。

◆Web履修登録の流れ



○ 登録の追加・取消（平成30年前学期の場合）

- ① 学生は，4月5日までに教務情報システム(Web)で授業科目の履修登録をします。
- ② 学生が登録した授業科目を確認するため，教育支援課では「履修登録確認表」を4月6日に紙媒体で配付します。学部，年次により配付時間が異なりますので，本冊子の3～4ページでご確認ください。掲示板，授業時間配当表でもお知らせします。
- ③ 登録調整期間（4月9日～20日）には，授業科目の追加登録及び取消しを行うことができます。授業科目を追加する場合は，「履修登録確認表」に授業科目名等の必要事項を記入して，講義担当教員から承認印と「許可コード」を得ます。その際，担当教員へ「登録調整処理票」（各自で教務情報システムから登録調整処理票を「紙」に印刷し，必要事項を記入する）を提出します。その後，教員からもらった許可コードを使用してシステム上で授業科目の追加登録又は取消しを行います。最後に，追加・取消の科目が反映されているかを確認し，併せて教員から承認を得た「履修登録確認表」と登録内容を一致させてください。



【登録調整処理票】

登録調整処理票(担当教員用)						
1. 登録			2. 取消			
※どちらかに○を付け、担当教員へ提出してください。						
学籍番号						年次
学部・学科 (研究科・専攻)	学部 (研究科)			学科 (専攻)		
ふりがな						
氏名						
講義コード						
科目番号						組名
科目名(講義名)						
担当教員名						
曜日	月	火	水	木	金	土
時限						
仮出欠 記録欄						
<small>※注意</small> 1 学籍番号は末尾のアルファベットまで記入すること。 2 外国人教員担当の講義を受講する場合、氏名をローマ字の活字で記入すること。 3 学生はこの処理票を担当教員に提出し、許可コードをもらい、 必ずWeb上で 、追加もしくは取消の処理を行うこと。						

「登録調整処理票」は、教務情報ページで授業時間配当表の「登録調整処理票等」を開き、印刷して利用してください。

琉球大学 教務情報			
トップページ TOP	教務情報(学生向け) STUDENTS	教務情報(教員向け) TEACHERS	
「学部生用」平成29(2017)年度【後学期】授業時間配当表			
HOME > 授業時間配当表【年度一覧】 > < 「学部生用」平成29(2017)年度【後学期】授業時間配当表			
登録調整処理票等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 凡例 ・ 登録実施要項 ・ 授業時間表 ・ 登録調整処理票 (登録調整期間中に、印刷して利用して下さい。) ・ 時間割登録ワークシート 			

7. 各学部登録上限単位数

各学部とも1個学期に登録できる単位数の上限は、20単位まで（集中講義は含まれません）となります。ただし成績が優秀である場合には上限を超えて、履修を認めています。各学部の登録上限単位数及び上限超過基準は以下のとおりです。法文学部、観光産業科学部及び工学部の旧学科については、履修登録確認表の裏面でご確認ください。

■人文社会学部

- (1) 1個学期の登録上限単位数は20単位とする。
- (2) 直前に在学した学期の5段階評価によるGPAが3.0以上の者は指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。
- (3) 集中講義については、登録上限単位に含めない。
- (4) 海外交流協定校へ留学した学生については、帰国後の2個学期のみ、指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。
- (5) 3年次編入学生については、入学後の2個学期のみ、指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。
- (6) GPAの値にかかわらず、下記の資格取得予定者は指導教員の指導・承認を得て登録単位の上積みを6単位まで認める。ただし、超過する分は資格取得に必要な下記の科目とする。
 - ◆教員免許：教職に関する科目（教科に関する科目は含まない）
 - ◆社会福祉士：相談援助演習Ⅰ～Ⅲ，相談援助実習指導Ⅰ～Ⅲ
 - ◆学芸員：博物館学関係授業科目（必修科目のみ）
 - ◆日本語教育副専攻：必修科目のみ
 - ◆学校図書館司書教諭：学校経営と学校図書館，学校図書館メディアの構成，学習指導と学校図書館，読書と豊かな人間性，情報メディアの活用
- (7) 上記(6)の（資格取得希望者）に該当する者のGPAが3.0以上の場合でも26単位までとする。

■国際地域創造学部

- (1) 1個学期の登録上限単位数は20単位とする。
- (2) 直前に在学した学期の5段階評価によるGPAが3.0以上の者は指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。
- (3) 集中講義については、登録上限単位に含めない。
- (4) 海外交流協定校へ留学した学生については、帰国後の2個学期のみ、指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。
- (5) 3年次編入学生については、入学後の2個学期のみ、指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。
- (6) GPAの値にかかわらず、下記の資格取得予定者は指導教員の指導・承認を得て登録単位の上積みを6単位まで認める。ただし、超過する分は資格取得に必要な下記の科目とする。
 - ◆教員免許：教職に関する科目（教科に関する科目は含まない）
 - ◆学芸員：博物館学関係授業科目（必修科目のみ）
 - ◆日本語教育副専攻：必修科目のみ
 - ◆学校図書館司書教諭：学校経営と学校図書館，学校図書館メディアの構成，学習指導と学校図書館，読書と豊かな人間性，情報メディアの活用

(7) 前記(6)の(資格取得希望者)に該当する者のGPAが3.0以上の場合でも26単位までとする。

■教育学部

(1) 1個学期の登録上限単位数は20単位とする。

(2) 以下の場合には上限の上積みを認める。

① 直前の学期のGPAが3.0以上の者は、28単位。

② 直前の学期のGPAが2.5以上3.0未満の者は、26単位。

③ 直前の学期のGPAが2.0以上2.5未満の者は、24単位。

・新入生や復学者等の最初の学期に関しては、前項にかかわらず年次指導教員の承認を得て25単位まで履修登録できるものとする。

・休学や病欠などのやむを得ない事由により、直前の学期のすべての授業科目を履修できなかった者の履修登録単位数の上限は、年次指導教員の承認を得て25単位まで履修登録できるものとする。

※以下の科目は上限単位から除外し、科目提供責任者が課す登録要件さえ満たしていれば履修登録できるものとする。

◆教職実践に関する科目

◆卒業研究または卒業論文

◆集中講義で行われる授業科目

■理学部

(1) 1個学期の登録上限単位数は20単位とする。

(2) 教職・学芸員等の資格取得等のための科目については、指導教員の指導・承認を得て登録単位の上積みを認める。

■医学部

(1) 1個学期の登録上限単位数は20単位とする。

(2) 新入生や復学者等の最初の学期に関しては、前項にかかわらず年次指導教員の承認を得て30単位まで履修登録できるものとする。

(3) 所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、指導教員の指導・承認を得て上限超過を認める。

(4) 教職・各種資格取得希望者については、指導教員の指導・承認を得て上限超過を認める。

■工学部

(1) 1個学期の登録上限単位数は20単位とする。

機械工学コース：直前の学期の成績が優秀である等の理由で指導教員の指導・承認を得た場合は26単位まで認める。

エネルギー環境工学コース：直前の学期の成績が優秀である等の理由で指導教員の指導・承認を得た場合は26単位まで認める。

電気システム工学コース：① 直前の学期の成績が、集中講義を除く科目において8科目以上がA又はBであり、指導教員の指導・承認を得た場合は26単位まで認める。

② 交換留学を申請する学生については、指導教員の指導・承認を得た場合は26単位まで認める。

電子情報通信コース：① 直前の学期の成績が、集中講義を除く科目において8科目以上がA又はBであり、指導教員の指導・承認を得た場合は26単位まで認める。

② 交換留学を申請する学生については、指導教員の指導・承認を得た場合は26単位まで認める。

社会基盤デザインコース：直前の学期の成績が優秀である等の理由で指導教員の指導・承認を得た場合は26単位まで認める。

建築学コース：直前の学期の成績が優秀である等の理由で指導教員の指導・承認を得た場合は26単位まで認める。

知能情報コース：① 指導教員へ事前に学習計画を提示し、指導・承認を得た場合は24単位まで認める。

ただし、教職免許関連科目履修者については26単位まで認める。

② 直前の学期の成績が優れている場合には、指導教員の承認を得て26単位まで認める。

■農学部

1 個学期の登録上限単位数は20単位とする。但し、所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、指導教員の指導・承認を得て29単位まで認める。

8. クォーター科目

本学の授業科目は、多くが前学期又は後学期の16週間（試験を含む）を通じて授業が行われています。これに対して、クォーター科目とは前学期と後学期のそれぞれ前半と後半に、8週（試験を含む）で授業を行う科目のことです。第1クォーターから第4クォーターの各期間や試験期間等は学年暦や教務情報システムで確認してください。クォーター科目は授業時間割配当表において、第1クォーターに行われる科目は「1Q」、第2クォーターに行われる科目は「2Q」などと明記しています。

クォーター科目の履修登録は、第1クォーターと第2クォーターの科目は前学期の履修登録期間に、第3クォーターと第4クォーターの科目は後学期の履修登録期間に行います。特に、必修科目などの登録忘れがないように注意してください。

(1) 前学期及び後学期の授業期間をそれぞれ前半と後半に分け、各8週（試験を含む）で授業を行います。

	前学期						後学期						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2学期制	前学期授業期間 15週+期末試験（1週）						夏 季 休 業	後学期授業期間 15週+期末試験（1週）					
クォーター 科目	第1クォーター (前学期前半)			第2クォーター (前学期後半)				第3クォーター (後学期前半)			第4クォーター (後学期後半)		
	授業期間 8週（試験含む）			授業期間 8週（試験含む）				授業期間 8週（試験含む）			授業期間 8週（試験含む）		
								春季 休 業					

- (2) クォーター科目の履修登録は、第2クォーター及び第4クォーターについても2学期制同様、学期始めに行います。登録調整期間内における科目の取消・追加も同様です。
- (3) 登録上限単位数（CAP制）については、1個学期（セメスター）20単位（クォーター科目も含めて）を上限とします。例えば、前学期の科目と第1クォーター及び第2クォーターの科目を合わせて登録する場合も上限が20単位となります。
- (4) 前学期及び後学期の授業期間をそれぞれ前半と後半に分け、各8週（試験を含む。）で授業を行います。
- (5) 入学・卒業の時期や休学・復学・除籍・再入学・授業料等については現行制度で対応します。
- ① 入学・卒業の時期
現行の2学期制に基づいて対応するため、例えば、第2クォーター開始時での入学や第1クォーター終了時での卒業はできません。
 - ② 修業年限
現行の2学期制に基づいて対応するため、第1クォーターを終え、第2クォーターを休学した場合は、1個学期を満たしたとは見なされません。
 - ③ 復学・再入学
現行の2学期制に基づいて対応するため、復学・再入学は学期の初めとします。
 - ④ 授業料の徴収
現行の2学期制に基づいて対応します。

9. 期末試験

期末試験の期間は学年暦に記載しています。科目（クォーター科目など）によっては授業期間中に試験が行われる場合がありますので、シラバスで確認してください。

期末試験では本人確認のため、「学生証」を必ず提示してください。

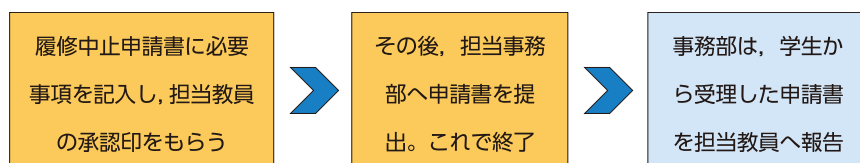
本学が実施する試験等において不正行為を行った場合は懲戒処分の対象となり、退学、停学などの処分が科される場合があります。

悪質性、重大性等から、不正行為を行った授業科目又は任意の授業科目、当該学期の全ての授業科目が無効（不合格：0点）として扱われるケースもあります。

10. 履修中止（ウィズドロ）制度

履修登録をして授業に出たものの、自分が学びたい内容と違って、授業に十分についていくことができないなどの理由により、学生が定められた期間内に履修登録した授業科目の履修を取り消すことができる制度です。**当該科目を履修中止して別の科目を登録することはできません。**

【履修中止申請の流れ】



1. 学生は、履修中止申請書を記入し、「承認印」欄に指導教員の承認印をもらう。
※履修中止申請書は、教務情報ページ <http://rais.std.u-ryukyu.ac.jp/dc/> から入手可能です。
2. 学生は、学年暦で決められた手続き期間内に、申請書を次の事務室へ提出する。
提出先：1, 2年次（医学科2年次を除く）⇒教育支援課（共通教育棟1号館）
3年次以上（医学科2年次を含む）⇒各学部事務室
3. 学生が行う履修中止の手続きはこれで終了。
4. 学生から申請書を受理した事務部は、速やかに授業科目の担当教員へ報告する。

11. GPA制度

GPAとは、グレード・ポイント・アベレージのことで、学生の履修科目の成績評価の平均値をいいます。このGPAは奨学金申請、交換留学生の選抜基準、履修上限単位数の設定などに活用されます。GPAは次の式により計算し、小数点以下第3位を四捨五入します。

現在のGPA制度では、F（不可）の科目は0ポイントとしてカウントされますが、履修中止が承認された科目はW（Withdrawの頭文字）と表示し、GPAには反映されません。

$$\text{GPA} = \frac{(\text{GP} \times \text{単位数}) \text{の総和}}{\text{履修登録単位数}}$$

注1) 可否（P又はF）により判定する授業科目及び成績評価がR（認定）の授業科目は、履修登録単位数に含めない。

注2) 履修中止が承認された授業科目の成績評価はWと表示し、履修登録単位数に含めない。

区分	評価	評点(100点満点中)	GP	評価内容（英文内容）
合格	A	90点以上	4	特に優れた成績（Excellent）
	B	80点以上90点未満	3	優れた成績（Good）
	C	70点以上80点未満	2	良好な成績（Fair）
	D	60点以上70点未満	1	合格と認められる最低限度の成績（Pass）
不合格	F	60点未満	0	合格と認められない成績（Failure）

12. 成績評価不服申立制度

学生が履修登録を完了し、その科目を履修した場合は、科目担当教員が成績評価を行い、学年暦で定められた成績開示日に学生に開示されます。

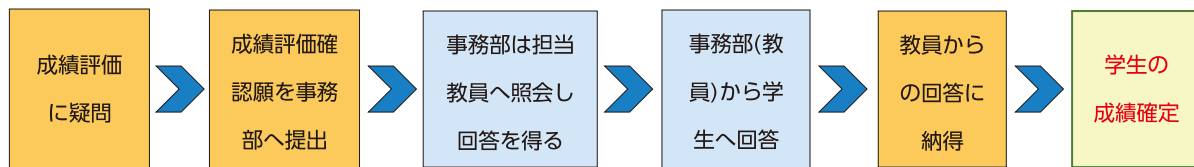
成績評価に疑問がある学生は、成績開示日から当該学期終了後5日を経過する日までに（ただし土日祝日を除く。）直接事務部へ「成績評価確認願」を提出することができます。

成績評価不服申立の手続きや日程については、掲示板や教務情報システムの「お知らせ」で確認してください。

【成績評価不服申立の流れ】

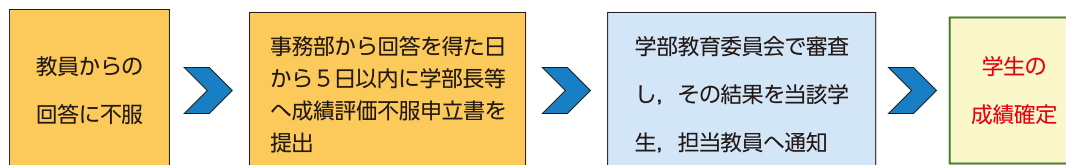
成績評価不服申立の手続きは2段階になります。手続きに必要な提出書類は、教務情報ページ <http://rais.std.u-ryukyu.ac.jp/dc/> から入手可能です。

◆第1段階（成績評価に疑問がある）



- 成績開示日から原則として当該学期終了後5日を経過する日まで（土日祝日を除く）に事務部へ「成績評価確認願」を提出。
- 学生からの「成績評価確認願」を受けて事務部が担当教員へ照会し、回答を学生へ通知。
- 学生が担当教員からの回答を受け入れる場合、成績が確定となる。

◆第2段階（第1段階での担当教員の回答に不服）



- 第1段階での科目担当教員からの回答に不服がある場合、学生は回答を得た日から5日以内（土日祝日を除く）に学部長等に「成績評価不服申立書」を提出。
- 学部長は学部教育委員会等で審査し、その結果を当該学生、科目担当教員へ通知する。これで学生の成績が確定となる。



副専攻

本学には、学部及び学科等で編成する教育課程以外に、学生の複眼的な思考力、総合的な理解力等を育成するための教育課程（副専攻）を開設しています。副専攻を修了した学生には、卒業証書の他に副専攻修了証が授与されます。

本学での副専攻は現在4つで、どれも特徴的で本学でしか学べない副専攻です。副専攻の本登録は2年次からですが、1年次から予備登録ができますので、ぜひ検討してください。

(1) 総合環境学副専攻

現代における環境問題の重要性は日々大きくなるばかりです。総合環境学副専攻で学び、環境についての知（環境リテラシー）を身につけ、現代社会のさまざまな分野で活躍し、貢献できる力を身に付けませんか。

(2) 琉球学副専攻

奄美群島と沖縄県全域を含めた地域は、「本土」とは異なった歴史、文化、自然環境等があります。琉球の歴史、文化・言語、自然環境等について体系的に学び、琉球＝「足元」の多様性を理解することができる副専攻です。また、「足元」の多様性を理解することにより、アジア・太平洋地域を始め、世界における多様性をより深く理解できます。

(3) 日本語教育副専攻

国語としての日本語教育や日本語教師に関心がありませんか。日本語教育副専攻の科目を体系に履修することで、総合的かつ実践的な日本語教育能力を身に付けることができます。

(4) 地域創生副専攻

地域社会は、人口減少、活力の喪失など様々な問題を抱えています。沖縄県でも一部の地域で人口が減少しており例外ではありません。そこで、本学では、平成29年度から地域創生副専攻を設置しました。各地域の持続・発展に向け、地域の未来を切りひらくことのできる力を身に付けることができます。



学習サポートルーム

学習サポートルームでは、講義でわからない点や勉強方法、レポートの書き方など、あなたの勉強を大学院生がサポートします。予約した学生を優先しますが、当日の対応も可能です。

- 場所：附属図書館2階ラーニングコモンズ
- 時間：休業期間を除く毎週水曜日 15：00～17：00
- 科目：数学，物理（第1・3・5水曜日）
化学（第2・4水曜日）
- 予約の仕方：氏名，所属（学部・学科・年次），予約希望日，科目，質問したい内容を記載し，学生部教育支援課にメール（kykyd1k@to.jim.u-ryukyu.ac.jp）を送信。

※附属図書館では、大学院学生がレポートの書き方，それぞれの専攻分野に関する勉強法などについてサポートする「学修相談段窓口」を開設しています。

平成30年度前学期

4月	4日	11日	18日	25日	
	休み	化学	数学・物理	化学	
5月	2日	9日	16日	23日	30日
	休み	化学	数学・物理	化学	数学・物理
6月	6日	13日	20日	27日	
	数学・物理	化学	数学・物理	化学	
7月	4日	11日	18日	25日	
	数学・物理	化学	数学・物理	全科目	

※試験期間：7月25日(木)，7月30日(月)～7月31日(火)，8月2日(木)～8月3日(金)

平成30年度後学期

10月	3日	10日	17日	24日	31日
	数学・物理	化学	数学・物理	化学	数学・物理
11月	7日	14日	21日	28日	
	数学・物理	化学	数学・物理	化学	
12月	5日	12日	19日	26日	
	数学・物理	化学	数学・物理	休み	
1月	9日	16日	23日	30日	
	休み	化学	数学・物理	全科目	

※試験期間：平成31年2月4日(月)～2月8日(金)



VII 休学・退学等の手続き

1. 休学

病気や学資の支弁が困難なとき、その他やむを得ない理由がある場合には休学することができますが、授業料の減免措置や日本学生支援機構等の奨学金貸与制度、他の財団等の奨学金への応募などの支援が考えられますので、指導教員あるいは学生部学生支援課に相談してください。

休学の手続きは病気の場合を除き、前学期は7月1日まで、後学期は1月20日までに行ってください。休学における授業料の納付については、次のとおり取り扱われますので、留意してください。

○前学期：休学手続きは7月1日まで

- 4月1日までに休学を許可された場合の授業料 → **全額免除**
- 4月2日から4月30日の間に休学が許可された場合の授業料 → **4月分のみ納付**
(5月分以降は免除)
- 5月1日以降に休学を許可された場合の授業料 → **全額納付**

○後学期：休学手続きは1月20日まで

- 10月1日までに休学を許可された場合の授業料 → **全額免除**
- 10月2日から10月30日の間に休学を許可された場合の授業料 → **10月分のみ納付**
(11月分以降は免除)
- 11月1日以降に休学を許可された場合の授業料 → **全額納付**

2. 復学

休学期間を満了した場合又は休学期間満了前にその理由が消滅した場合は、所定の期日までに当該学部長を経て願い出、学長の許可を得て復学することができます。病気による休学者が復学する場合は、医師の診断書を添付しなければなりません。

3. 転学部・転学科等

希望の学部・学科等に入学したものの、「勉学等を進め社会への理解を深めるうちに将来の進路が変わった」「将来の進路は不確定のまま大学に入学したが勉学を進める上で自分にふさわしい進路を見出した」「自分が所属する学部・学科等の実情がわかるにつれ、当初考えていたものと違っていることに気づいた」等の場合、転学部・転学科等の制度を活用することができます。

転学部・転学科等の選考は、「希望学部が課す科目の試験」「在学中の成績」「入学した際の入学者選抜学力試験の成績」「面接」により審査されます。詳しくは指導教員あるいは学部の学務係に相談してください。

4. 退学

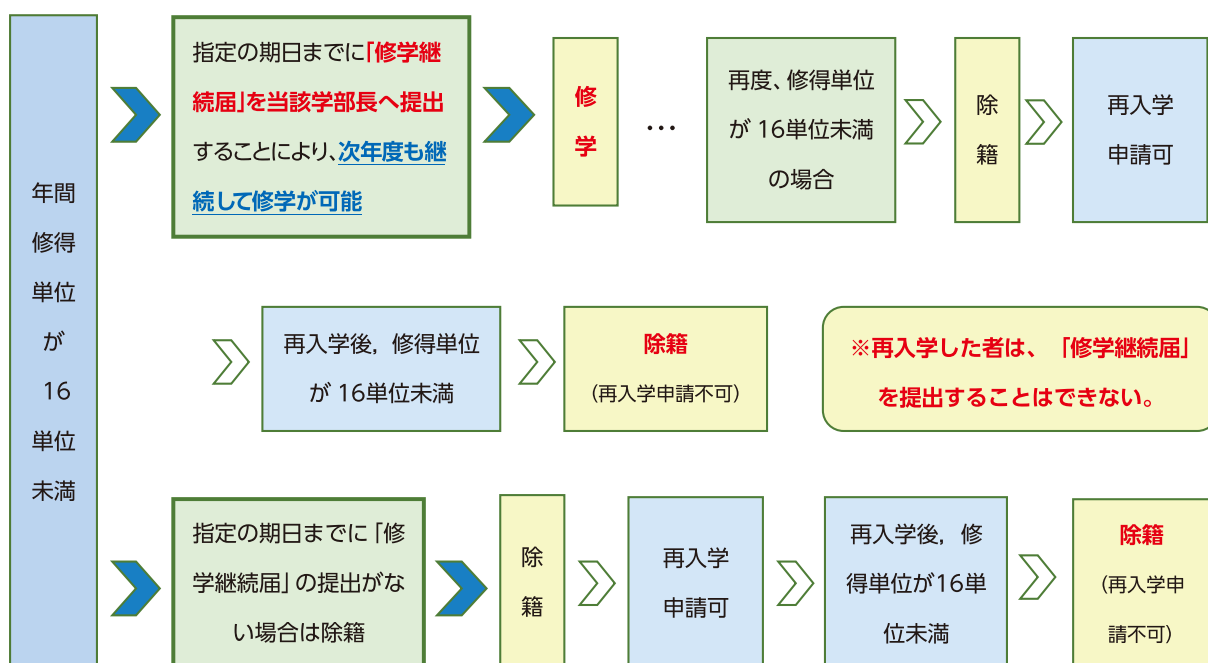
経済的な理由や心身の病気を理由に退学を願い出すことができます。退学すべきかどうかは一人で悩まず、保護者、指導教員、当該学部の学務係と事前に相談することをお勧めします。よい解決策が見つかるかも知れません。

願い出による退学の場合、平成30年度の入学者から再入学の申請は退学後4年以内となります。前学期からの再入学を希望する場合は2月10日まで、後学期からの再入学を希望する場合は8月10日までに当該学部で再入学の申請手続きを行う必要があります。再入学を申請する場合はその申請期限に十分気をつけてください。なお、再入学は1回限りです。

5. 除籍

本学では、1年間（4月から3月まで）の修得単位が16単位未満の場合（卒業に要する最終学年＝卒業に必要でかつ十分な科目及び単位の登録を完了した者を除く）に除籍（本学の身分を失う）となる制度があります。平成30年度から修得単位が16単位未満の場合であっても、引き続き次年度も修学を継続する意思を有し、所定の期日までに修学継続届を学部長に届け出た場合には、1回に限り除籍対象から除かれます^(※)。ただし、所定の期日までに必要な手続きを行わない場合は自動的に除籍となります。所定の期日とは、後学期（第4クォーターを含む。）の成績開示日から7日以内（ただし、土日祝日を除く。）です。詳しくは当該学部の学務係へお尋ねください。

※医学科にあっては、第1年次(入学初年度の者及び入学後初めて履修を開始する者)の修得単位が16単位未満の者に限ります。



また、当該学期の授業料が未納の場合も除籍の対象となります。前学期は9月末日までに、後学期は3月末日まで（卒業に要する最終学年の学生で、9月卒業予定者にあつては8月末日まで、3月卒業予定者にあつては2月末日まで）に授業料を納付しない場合は除籍となります。入学料が9月末日までに未納の場合も除籍となります。

なお、以下の場合を除籍の対象外となります。

- ① 学年の途中で再入学、復学及び休学を許可された者、停学（1月以下の停学を除く。）の処分を受けた者の修得単位が16単位未満の場合
- ② 学生交流協定による交換留学の派遣学生については、派遣期間を含む年度の修得単位が16単位未満の場合
- ③ 修得単位が16単位未満の場合であっても、引き続き次年度も修学を継続する意思を有し、所定の期日までに修学継続届を学部長に届け出た場合（ただし、修学継続届けの提出は1回に限る）

6. 再入学

願い出による退学、修得単位が16単位未満あるいは授業料・入学料未納等により除籍された者は1回に限り再入学が可能となります。ただし、平成30年度の入学者から再入学の申請は退学後4年以内となります。再入学の申請手続きは、前学期は2月10日まで、後学期は8月10日までに当該学部で行う必要がありますので、再入学を申請する場合はその申請期限に十分気をつけてください。

7. 手続き様式の入手方法

休学、復学や退学の手続きを行う場合は、教務情報ページの「手続き様式」から様式を印刷し、利用してください。所属学部によって、様式が若干異なる場合もありますので、自分の所属学部の様式を使用してください。

成績評価不服申立を行う場合の様式や、修学継続届についても、教務情報ページの「手続き様式」（[5ページ](#)を参照）から印刷し、使用することができます。



VIII 台風時等の授業の取扱い

沖縄本島内に暴風警報，暴風特別警報又は大雨特別警報(暴風警報等)が発表されている間は，時間帯によって授業が休講となります。その時間帯のポイントを押さえておきましょう。休講となった授業の補講については，授業担当教員へ尋ねてください。

■暴風警報等が解除となる場合の時間帯による授業の取扱い

暴風警報等が <u>午前6時30分</u> までに解除	➡	<ul style="list-style-type: none"> • 第1時限目の授業から行う。
暴風警報等が <u>午前6時31分～午前11時</u> までの間に解除	➡	<ul style="list-style-type: none"> • 1～2時限目は休講 • 第3時限目(12:50-14:20)の授業から行う。 ※医学科の専門科目は4時限目(12:50-13:50)からの授業を行う。
暴風警報等が <u>午前11時01分～午後4時</u> までの間に解除	➡	<ul style="list-style-type: none"> • 1～5時限目は休講 • 第6時限目の(18:00-19:30)の授業から行う。 ※医学科の専門科目の授業はすべて休講
暴風警報等が <u>午後4時01分以降解除されない場合</u>	➡	<ul style="list-style-type: none"> • 当日の授業はすべて休講

学生のための履修手引き

〒903-0213

沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

琉球大学 学生部 教育支援課

教 務 係 098-895-8849

共通教育・大学院係 098-895-8854